

開館5周年記念誌

# 5年間の歩み

平成16年～21年



萩博物館



開館 5 周年記念誌

# 5 年 間 の 歩 み

平成16年～21年

H H Hagi Hakubutsukan  
萩 博 物 館



# 萩博物館開館5周年記念誌

## 目 次

---

開館5周年を迎えて	1
1. 施設の概要	2
2. 管理・運営体制の概要	2
3. 開館5年間の歩み	3
4. 常設展示の概要	6
5. 特別展・企画展等の概要	9
6. 入館者数の推移	30
7. 教育普及活動	32
8. 収集・保管活動	45
9. 調査・研究活動	50
10. まちじゅう博物館とのかかわり	51
11. 今後の課題	51

# 開館5周年を迎えて



萩博物館は、平成16年（2004）11月11日に「萩まちじゅう博物館」の中核施設として開館しました。この日は、毛利輝元公が萩城に入城した記念の日にあたります。萩の地が毛利公のもと、新しい国づくりの歴史を歩み始めたその日から400年の歳月を経て、萩市は「まちじゅう博物館構想」を掲げた新しいまちづくりに着手しました。

新萩博物館には、その中核、象徴としての意味合いが込められています。従いまして、当館は資料の収集・保管、調査・研究などの基本的業務に加え、常設展示の充実、特別展や企画展の開催、講座や観察会などの普及活動を通して、まちじゅう博物館の推進はもとより、生涯学習や学校教育の支援などに微力を尽くしてまいりました。

新しい試み「まちじゅう博物館」は、1970年代、欧州博物館協会会长が提唱したエコミュージアムの考え方を導入したもので、地域の生活、自然、社会環境の発展過程を史的に探求し、自然及び文化遺産を現地に保存展示することによって、当該地域社会の発展に寄与することを目的にした現地保存型の野外博物館で、展示品は事物だけでなく、風景や地域特有の伝承など“幅広い文化的なもの”が含まれ、それを市民が守り次世代に伝える市民参加の博物館でもあります。

萩博物館には、博物館活動に関心を持つ市民170人が、NPO萩まちじゅう博物館に集い、ボランティア精神で博物館の運営やまちじゅう博物館活動に積極的に携わっています。このことは国が進める「新しい公共一協働」の在り方を考える壮大な実験に参画していることにもなります。

開館5周年を機に私たちは一度立ち止まって、これまでの活動を概略文字化することによって見つめ直し、基本的な活動、協働あるいは新たな取り組みなど今後の活動がより幅の広い、深みのあるものになるよう考えてみたいと思います。

いずれにいたしましても、今後も新鮮で興味深い情報の収集と発信に努め、地域文化の振興のため、また市民に愛される博物館を目指してまいります。

## 1. 施設の概要

萩博物館は、萩藩主毛利家の一門にあたる大野毛利家の上屋敷跡に建設された。博物館の敷地が、旧萩城三の丸にあたる堀内伝統的建造物群保存地区にあることから、建物の配置や外観はかつてこの地区内にあった規模の大きな武家屋敷の特徴にならって設計した。

### 敷地と各建物の面積

博物館敷地	.....	14,447m <sup>2</sup>
博物館本体		
(平屋建て、一部2階建て)	.....	4,267.54m <sup>2</sup>
長屋門(平屋建て)	.....	349.28m <sup>2</sup>
隅矢倉(2階建て)	.....	95.26m <sup>2</sup>
長屋(平屋建て)	.....	197.93m <sup>2</sup>

### 博物館本体各室等の面積

#### 管理部門

事務室	.....	211m <sup>2</sup>
書庫	.....	75m <sup>2</sup>
応接室	.....	26m <sup>2</sup>
特別資料調査室	.....	47m <sup>2</sup>
資料整理作業室	.....	56m <sup>2</sup>

#### 展示部門

歴史展示室	.....	491m <sup>2</sup>
萩学コーナー	.....	208m <sup>2</sup>
高杉晋作資料室	.....	109m <sup>2</sup>
いきもの発見ギャラリー	.....	134m <sup>2</sup>
企画展示室	.....	230m <sup>2</sup>

博物館本体の構造は鉄筋コンクリート造であるが、軒先には木材を使用し、外壁は漆喰壁、なまこ壁、杉板下見板張り壁で、伝統的建造物群保存地区にあって違和感のないよう配慮している。敷地周囲には隅矢倉、長屋門、土塀などを配し、通りからの景観についても周辺との調和を図っている。

### 収蔵部門

特別収蔵庫	.....	53m <sup>2</sup>
一般収蔵庫1	.....	233m <sup>2</sup>
一般収蔵庫2	.....	93m <sup>2</sup>
一時保管庫	.....	38m <sup>2</sup>

### 教育普及部門

講座室	.....	94m <sup>2</sup>
体験学習室	.....	68m <sup>2</sup>
天体観望室	.....	35m <sup>2</sup>

### 共用部門

エントランスホール	.....	461m <sup>2</sup>
レストラン	.....	80m <sup>2</sup>

## 2. 管理・運営体制の概要

萩博物館の運営は、萩市職員とNPO萩まちじゅう博物館が協働で行っている。萩市職員の構成

### 萩市職員

館長（嘱託）

副館長

学芸班：歴史担当2名（内1名嘱託）、民俗担当1名、生物担当2名（内1名嘱託）、天文指導員2名

庶務係：3名

と、萩市がNPO萩まちじゅう博物館へ委託している業務は以下のとおりである。

### NPO萩まちじゅう博物館への委託業務

受付、案内、展示ガイド、清掃、守衛

### 3. 開館5年間の歩み

#### ■前史

昭和21年(1946) 6月	萩市教育委員会が熊谷町に科学館を創立
昭和22年(1947) 8月	萩科学博物館に改称
昭和24年(1949)	一時閉鎖
昭和25年(1950) 12月	萩市公民館付設博物館として再発足
昭和32年(1957) 6月	博物館法による博物館として登録(科学博物館となる)
昭和34年(1959) 5月	人文科学関係を加え総合博物館となる
昭和34年(1959) 8月	萩市郷土博物館として、萩市江向525番地の4に新築開館
昭和42年(1967) 9月	屋上に天体観測ドームを建設し、15cm屈折赤道儀を設置
昭和43年(1968) 10月	分室として萩市江向495番地の4(萩市民館内)に維新資料展示室(208m <sup>2</sup> )を開設
昭和58年(1983) 4月	分館として萩市江向530番地の1に民俗資料館を開設
平成11年(1999) 12月	国道191号拡幅に伴う解体工事のため、萩市江向5番地の11の旧法務局庁舎に仮移転
平成12年(2000) 4月	博物館建設準備室設置
平成12年(2000) 5月	萩市博物館建設検討委員会設置
平成12年(2000) 10月	萩市堀内355番地の新博物館建設地の発掘調査開始
平成13年(2001) 3月	萩市新博物館基本構想策定
平成13年(2001) 7月	プロポーザル・コンペ方式により建築設計者、展示設計業者決定
平成14年(2002) 5月	新博物館新築工事、機械設備工事、電気設備工事入札
平成14年(2002) 6月	建設地の発掘調査完了
平成15年(2003) 3月	展示実施設計完了
平成15年(2003) 3月	長屋門、隅矢倉、長屋完成
平成15年(2003) 4月	展示制作業者決定
平成15年(2003) 9月	萩市堀内355番地に本館完成
平成15年(2003) 11月	全国公募で萩博物館と名称が決定

## ■開館後

- 平成16年(2004)11月11日 萩開府400年を記念して開館、高杉晋作資料室を開設
- 平成17年(2005)7月7日 優良木造施設林野庁長官賞を受賞
- 平成17年(2005)7月20日 入館者10万人を突破
- 平成17年(2005)10月8日 「ボランティアメッセ2005」を開催(10日まで)



開館記念式典（平成16年度）



ボランティアメッセ2005（平成17年度）

- 平成17年(2005)10月25日 「萩学なんでもボックス」がグッドデザイン賞を受賞
- 平成17年(2005)11月28日 手づくり郷土賞「地域整備部門」に認定
- 平成18年(2006)4月8日 国際シンポジウム「海を渡った長州砲」を開催
- 平成18年(2006)8月5日 小泉純一郎首相が来館
- 平成18年(2006)8月29日 入館者20万人を突破



国際シンポジウム「海を渡った長州砲」（平成18年度）



小泉純一郎首相来館（平成18年度）

- 平成19年(2007)8月8日 入館者30万人を突破
- 平成19年(2007)9月14日 常設展示室をリニューアルオープン
- 平成19年(2007)11月11日 「いきもの発見ギャラリー」をオープン
- 平成19年(2007)11月16日 第48回建築業協会賞を受賞
- 平成20年(2008)8月26日 入館者40万人を突破
- 平成20年(2008)8月28日 イギリスから借用した「長州砲」を一般公開(平成21年5月31日まで)

- 平成20年(2008)9月2日 萩市・下関市・東行庵の三者間で、萩博物館に寄託の高杉晋作資料のうち、萩市ゆかりの69点は引き続き萩市へ寄託、下関市ゆかりの158点は東行庵へ移管することを合意
- 平成20年(2008)11月 「萩まちじゅう博物館」をモデルとした観光開発支援のため、萩博物館学芸員がヨルダンに派遣
- 平成21年(2009)2月 平成20年度企画展「風雲!昆虫城～カブトムシたちの戦記～」が第54回山口県広報コンクールで特選を受賞
- 平成21年(2009)8月25日 入館者50万人を突破



「長州砲」の一般公開（平成20年度）



入館者50万人突破（平成21年度）

- 平成21年(2009)11月11日 開館5周年を記念して無料公開
- 平成22年(2010)3月9日 東行庵が萩市と高杉晋作の子孫に対し、萩博物館に寄託の高杉晋作資料69点の返還を求めて訴訟を提起
- 平成22年(2010)5月25日 屋外展示場「石の小径」がオープン

## 4. 常設展示の概要

開館当初の常設展示の概要は、以下のとおりである。

### (1) 萩学展示室（現、歴史展示室）

「自然とともにあるまち」「今に息づくまち」「人を育むまち」という3つのテーマから、萩の魅力を総合的に伝えることを目的に展示を構成した。

「自然とともにあるまち」は、「萩の地形とその成り立ち」「海が語る萩」「石が語る萩」「夏みかんが語る萩」の3つのコーナーで構成した。

「今に息づくまち」は、「城下町の成り立ち」「城下町のにぎわい」「城下町の祭り」の3つのコーナーで構成した。

「人を育むまち」は、「幕末を生きた萩の人びと」「吉田松陰と松下村塾」「幕末萩の科学技術」「新しい時代と萩の人びと」の4つのコーナーで構成した。

### (2) 萩再発見ギャラリー（現、萩学コーナー）

萩に関する様々なテーマに沿って、資料や情報など収めた持ち運び可能な「萩学なんでもボックス」を設置し、来館者が箱を自由に取り出し、中身を手に取って萩を再発見できるとともに、市民参加の展示を行うスペースとした。「萩学なんでもボックス」は開館当初は18種類であったが、平成17年度に4種類を追加した。その一覧は、以下のとおりである。

- 1 明倫小学校のひみつ
- 2 地図を重ねて再発見
- 3 松陰先生とその弟子たち
- 4 越ヶ浜の水道
- 5 木が語る椿西
- 6 萩とフカの深い関係
- 7 これが木間神楽舞 神代の舞だ!!
- 8 眼鏡橋をつくろう
- 9 出土品から探る大井の歴史
- 10 大島の葉たばこと海の幸
- 11 大物の宝庫・見島
- 12 覗いてみよう萩のなかの西洋
- 13 「裂き織り」を着てみよう
- 14 萩焼ができるまで
- 15 松下村塾入門！

- 16 「幕末パン」のつくりかた
- 17 錦絵に見る萩ゆかりの人々
- 18 萩の火山のふしげ
- 19 萩の色
- 20 萩の竹
- 21 萩の今昔
- 22 萩の音

### (3) 高杉晋作資料室

高杉晋作の遺品や遺墨など、高杉家から寄託された資料を中心に晋作の生涯を紹介した。

### (4) 情報センター(現、いきもの発見ギャラリー)

萩の「まちじゅう」の魅力を紹介する映像装置や、萩博物館や「まちじゅう」の情報を得ることができる情報機器を設置した。

### (5) エントランスホール

来館者のキャッチとするためエントランスホール正面に、昭和7年(1932)の萩市の市制施行時に描かれた萩の鳥瞰図屏風(複製)を展示した。また、実写映像やコンピューターグラフィックによって、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている堀内地区と浜崎地区の「まち」歩きの疑似体験ができる情報機器「まちなみウォークスルー」を設置した。開館1年後の平成17年度には、エントランスホール西側、情報センター入口の左手に「いきもの研究室」を開設し、萩地域の昆虫や貝の標本を自由に引き出し閲覧できるようにした。

平成19年度は開館3周年にあたり、展示スペースと展示資料を増やし、来館者の満足度と滞在時間を増加させるために、常設展示室をはじめエンタランスホール・情報センターなどを一部改変した。その後も、随時展示ケースや展示パネルなどの増設を行った。その概要は、以下のとおりである。

### (1) 歴史展示室（旧萩学展示室）

常設展示の旧萩学展示室にあった住吉祭りのお船山車をエントランスホールに、海底地形模型1台と「海が語る萩」「石が語る萩」「夏みかんが語る萩」の3台の展示ブースを旧萩再発見ギャラリーに移動した。その空いたスペースにウォールケースを3台、覗きケースを3台増設し、実物資料の展示を充実させ、萩城築城から明治維新に至る長州藩260年の歴史の流れを重視した「歴史展示室」とした。なお、「歴史展示室」は、「藩主毛利氏と家臣」「参勤交代と江戸の藩邸」「城下町の成り立ち」「城下町のにぎわい」「城下町の祭り」「長州藩の藩政改革」「藩校明倫館」「ペリー来航と長州藩」「吉田松陰と松下村塾」「幕末萩の科学技術」「動乱の時代と長州藩」の各コーナーで構成した。

また、解説パネルや展示資料のキャプションを見やすく、分かりやすいものにした。平成21年度には、主要な展示資料について英訳キャプションを設置した。



### (2) 萩学コーナー（旧萩再発見ギャラリー）

「歴史展示室」への導入部にあたる旧萩再発見ギャラリーには、現在の萩市街地の航空写真の大判パネルを掲示し常設展示入口からのキャッチにするとともに、萩の地理的な位置付けを確認するために、旅をする吉田松陰の像と松陰の言葉、さらに当時の日本地図や防長両国図などの絵図のパネルで「歴史展示室」に誘うことにした。平成21年度には、萩市街地の航空写真パネルの横に、幕末期の萩城下町絵図パネルと昭和22年（1947）の萩市街地の航空写真パネルを設置し、江戸時代から現在に至る変わらない萩のまちと変わった萩のまちの変遷を比較できるようにした。さらに、歴史展示室へ誘うキャラクターとして位置付けた吉田松陰を概観するために、展示導入部に吉田松陰の一生を描いた「吉田松陰絵伝」のパネルを設置した。

また、旧萩学展示室にあった海底地形模型と海・岩石・夏みかんの展示ブースを旧萩再発見ギャラリーに移動し、萩に関するさまざまなテーマについてのハンズオンかつアウトドア型展示物「萩学なんでもボックス」と連動する形で、主に小・中学生などが地域学習に活用する「萩学コーナー」を設けた。



### (3) 高杉晋作資料室

「高杉晋作資料室」には、平成20年度にウォールケース1台を設置して実物資料展示の充実を図った。



### (4) いきもの発見ギャラリー（旧情報センター）

エントランスホール西側の旧情報センターは、海洋生物・陸上生物の展示室「いきもの発見ギャラリー」とした。萩の代表的な生物に親しむとともに、貝類や昆虫の標本を自由に引き出せるようにして、自然のフィールドに出掛ける動機付けるような展示とした。



### (5) 萩の人物コーナー（回廊）

常設展示とエントランスホールをつなぐ回廊には、幕末維新以降の「萩ゆかりの人びと」100人の人物紹介パネルを設置し、「政治・軍事」「経済・産業」「教育・文化」「萩地域貢献」の4つの分野ごとに掲示して、人物情報の充実と展示空間の有効活用を図った。平成21年度には、女性3人の人物紹介パネルを追加した。平成22年度には、103人の人物ごとの解説シートを設置した。



### (6) くらしのやかた（長屋門）

博物館敷地の南側にある長屋門は、「くらしのやかた」と称して「親子でふれる昭和のくらし」の展示を行った。身近に使っていた暮らしの道具類に触れる展示にするとともに、小学校社会科の「昔のくらし」の単元などに活用できる展示とした。



### (7) 石の小径（屋外展示場）

博物館敷地の東側には、萩市立図書館前庭にあった旧萩市郷土博物館の屋外展示場の石造物等を平成21年度に移転し、平成22年度に「石の小径」と名づけ屋外展示場としてオープンした。



### (8) エントランスホール

常設展示の旧萩学展示室にあった住吉祭りのお船山車をエントランスホールに移動するとともに、ミュージアムショップの移動などエントランスホールの空間の整理を実施し、ゆったりとした開放的な雰囲気とした。



## 5. 特別展・企画展等の概要

### (1) 特別展・企画展

企画展示室や萩再発見ギャラリー（現、萩学コーナー）を利用して開催。毎年4～5回開催してきたが、平成22年度から年4回に固定した。

#### 萩博物館開館記念・萩開府400年記念特別展 「毛利輝元と萩開府」

会期／平成16年(2004)11月11日(木)～12月10日(金)

出品協力／安芸高田市吉田歴史民俗資料館、志都岐山神社、周南市美術博物館、清光寺、善福寺、大照院、福岡市博物館、満願寺、毛利博物館、山口県文書館、山口県立山口博物館他

#### 概要

本展は、萩博物館開館と萩開府400年を記念して開催したものである。平成16年は毛利輝元が萩に居城を定め、入城し、萩が防長両国の城下町として開かれて400年目に当たり、萩開府の祖ともいえる輝元に焦点を当て、展示を構成した。輝元は、天文22年（1553）毛利隆元の長男として安芸国吉田郡山城に生まれた。戦国時代中国地方の霸者となった毛利元就の孫に当たる。永禄6年（1563）父隆元の死去にともない家督を継ぎ、祖父元就の手によって養育された。織田信長や豊臣秀吉と霸を競い、中国地方8か国112万石を領有する大大名に成長し、天正17年（1589）広島に居城を築いた。豊臣政権下では五大老の一人となり権勢を誇ったが、慶長5年（1600）関ヶ原の戦いで敗れ、周防・長門2か国に減封された。慶長9年（1604）居城を萩に選定し、同年11月11日に萩城に入城した。本展では、「毛利輝元の安芸国時代」「毛利輝元と萩城築城」「毛利輝元の人となりと家族」という展示構成で、輝元の事績とその人となりを輝元の遺墨・遺品や関係資料を通して紹介した。

担当／樋口尚樹

出版物／展示解説図録（A4版、56ページ、1,000部）



## 企画展「明治維新をさえた萩の人びと～田中助一氏収集資料受贈記念展」

会期／平成16年(2004)12月18日(土)  
～平成17年(2005)2月13日(日)

### 概要

本展は、故田中助一氏収集の貴重なコレクションが遺族から萩市に寄贈されたことを機に、その披露を兼ねて開催したものである。萩出身の田中助一(1911~1999)は、日本大学専門部医学科を卒業後、日本赤十字社本社病院での勤務を経て、昭和15年(1940)に帰郷し開業医となった。そのかたわら郷土史の研究に情熱を注ぎ、『防長医学史』ほか多くの著作を執筆。また郷土文化の発掘・継承に尽力し、その過程で膨大な量の実物資料の収集にもつとめた。本展では、それら貴重な資料群のなかから、明治維新の舞台裏をさえた萩の人びとにまつわる資料を厳選して紹介した。明治維新に活躍した萩ゆかりの人物としては、一般的には吉田松陰や高杉晋作らが有名だが、その他の人物にも光をあて、「人材の宝庫」としての萩を再発見できる機会となるよう配慮した。

担当／道迫真吾

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：12月19日(日)、1月15日(土)、13:30～



## 企画展 「萩の花～椿・サザンカ・梅・桜～」

会期／平成17年(2005)2月19日(土)～4月17日(日)

出品協力／大照院、岡田裕、岡野芳子、河上勲、田村秀祐、津田和夫、山村博一、山本孝夫

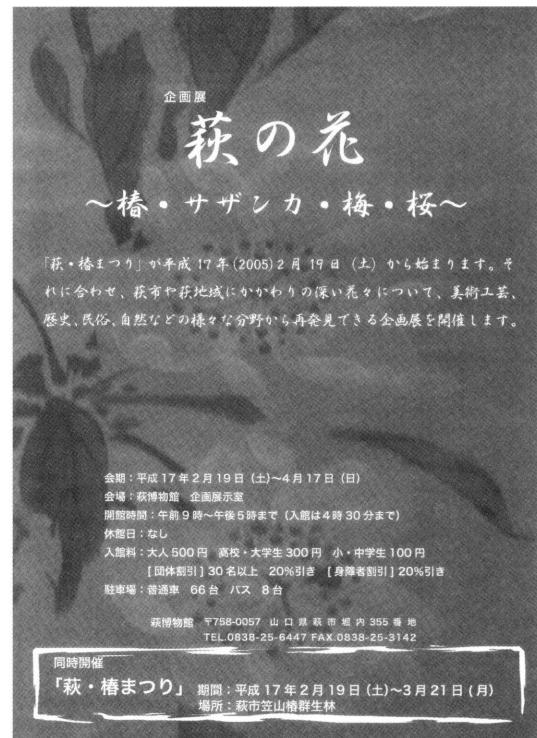
### 概要

萩市や萩地域とかかわりの深い花々について、美術工芸、歴史、民俗、自然などの様々な分野から多角的に紹介することで、「まちじゅう」の豊かな自然や本物の歴史・文化を再発見することを目的に展示を企画構成した。「椿—春の木、春を告げる花—」コーナーでは、笠山椿群生林の存在と民俗学者の柳田國男が注目した椿群生林の全国的な分布の特徴を紹介し、「サザンカ—冬の風に咲き散る南の花—」コーナーでは、サザンカ自生北限地の存在と園芸品種の関東における分布理由を紹介し、「梅—絵師たちを魅了した花—」及び「桜—春を謳い惜しむ花—」コーナーでは、萩藩や萩地域の絵師の活躍や萩地域における花を愛する文化を紹介し、「萩の花—まちじゅう博物館への誘い—」コーナーでは、笠山の椿群生林をアートフラワーと写真で演出し、それぞれ「まちじゅう」の資源へ来館者を誘うよう努めた。

担当／清水満幸

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：2月19日(土)、3月19日(土)、13:30～



## 企画展「萩博物館収蔵品展 —お初にお目にかかります」

会期／平成17年(2005)4月28日(木)～6月26日(日)

### 概要

当館は、自然・歴史・美術・考古・民俗などさまざまな分野の資料を数多く収蔵している。開館に合わせて、それぞれの分野で資料が寄贈あるいは寄託、購入された。これらの資料を中心に展示、公開するために本展を企画、開催した。

担当／樋口尚樹・清水満幸・道迫真吾・堀成夫・上利英之・柏本朝子

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：4月30日(土)、5月28日(土)、13:30～



## 萩市・下田市姉妹都市締結30周年記念特別展 「『宝島』の作者スティーヴンソンが つづる吉田松陰伝」

会期／平成17年(2005)7月9日(土)～9月4日(日)

後援／下田市、下田市教育委員会

出品協力／下田開国博物館(下田市)、東京工業大学  
(東京都目黒区)、平戸観光資料館(平戸市)、よしだみどり

### 概要

本展は、吉田松陰の米国密航未遂事件（下田踏海事件）の縁で、萩市と静岡県下田市が姉妹都市の盟約を結んで30周年となることを記念して開催したものである。松陰は下田での密航失敗後、松下村塾を主宰し、日本の近代化を推し進める人材を多く育てた。しかし意外にも、松陰の伝記を最初に書いたのは、『宝島』などの作品を通じて日本でも著名な英國の文豪R・L・スティーヴンソンであった。本展では、なぜスティーヴンソンが松陰の存在を知り、その著「ヨシダ・トラジロウ」でどのような松陰像を描き出したのか、またスティーヴンソンの人生に松陰がどのような影響を与えたのかを、様々な関連資料によって解き明かした。とくに、スティーヴンソン自身がつづった文章を豊富に用い、子どもたちにもわかりやすくメッセージが伝わるように工夫した。

担当／道迫真吾

関連行事①

名称：特別ギャラリートーク

テーマ：君たち、冒険の旅に出てみないかい？

日時：7月9日(土) 10:00～11:00

講師：よしだみどり(スティーヴンソン研究家)

対象：小学校高学年から中学生まで(親子参加可)

場所：萩博物館企画展示室

定員：30名(要予約)

関連行事②

名称：姉妹都市締結記念パネルディスカッション

テーマ：松陰の下田踏海とスティーヴンソン

日時：7月9日(土) 13:30～15:00

講師：佐々木忠夫(下田市史編纂委員)、松田輝夫(史都萩を愛する会会長)、よしだみどり(以上、パネラー)、道迫真吾(コーディネーター)

対象：高校生以上

場所：萩博物館講座室

定員：100名(先着順)

関連行事③

名称：ギャラリートーク

日時：7月16日(土)・30日(土)、8月13日(土)・27日(土)

13:30～

出版物／展示解説パンフレット(A4判、12ページ、15,000部)

## 新・萩市誕生記念特別展 「大萩市の文化財」

会期／平成17年(2005)9月17日(土)

～10月16日(日)

出品協力／南明寺、大照院、東光寺、龍藏寺、見島神社、大井八幡宮、実相寺、発昌寺、武氏八幡宮、片岡八幡宮、宝泉寺、大瀧寺、願行寺、宝宗寺、信盛寺、山口県立美術館、萩市立須佐歴史民俗資料館、萩市立明木図書館他

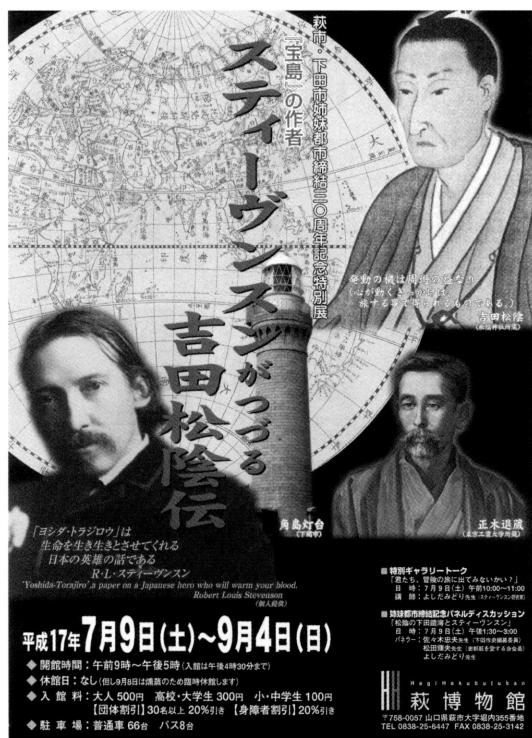
### 概要

平成17年3月6日、萩市・川上村・田万川町・むつみ村・須佐町・旭村・福栄村の1市2町4村が合併し、新しく萩市が誕生した。本展は、新・萩市の誕生を記念して開催したもので、合併したそれぞれの地域の中から歴史・美術工芸・考古・民俗・自然などの文化財を実物資料や写真パネルによって展示し、合併した各地域の人々がお互いの地域の歴史や文化、自然の特色を知り合いつかっかけとなるように配慮した。

担当／樋口尚樹・上利英之

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：9月17日(土)、13:30～



## 企画展「出土品が語る江戸時代の萩 —発掘された城下町」

会期／平成17年(2005)10月29日(土)  
～平成18年(2006)1月22日(日)

出品協力／山口県埋蔵文化財センター他

### 概要

平成9年度から16年度まで8年間をかけた国指定史跡萩城跡外堀遺跡の発掘調査によって、城下町の遺跡が掘り出された。出土した約80万点の遺物は、台所用具・灯明具・仏具・酒器・茶器・喫煙具・文具・化粧道具・玩具、木簡や下駄・漆器などの木製品、錢や動物の骨・貝殻など多岐にわたり、江戸時代の萩城下の人々の生活を知るうえで、たいへん貴重な資料であった。これらの出土品を「商い」と「暮らし」のコーナーに分けて展示し萩城下の人々の生活の具体相を明らかにし、映像などを使って発掘の経過を追うとともに、江戸時代の体験コーナーも設けた。

担当 柏本秋生・柏本朝子

### 関連行事①

名称：記念講演会

テーマ：萩城下に江戸を掘る

日時：10月30日(日)13:30～15:30

講師：中村徹也(山口県埋蔵文化財センター所長)

場所：萩博物館講座室

### 関連行事②

名称：ギャラリートーク

日時：11月19日(土)、12月17日(土)、1月21日(土)、13:30～



平成17年 10月29日(土)～平成18年 1月22日(日)

[記念講演会]「萩城下に江戸を掘る」日時：平成17年10月30日(日)午後1時30分～3時30分 講師：中村徹也(山口県埋蔵文化財センター所長)  
■開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
■休館日：なし  
■料金：大人500円 高校・大学生300円 小・中学生100円  
[团体割引]30名以上 20%引き [身障者割引] 20%引き  
■駐車場：普通車66台 バス8台  
■協力：財團法人山口県ひづくり財団山口県埋蔵文化財センター

## 企画展「幕末長州藩の科学技術 ～大砲づくりに挑んだ男たち～」

会期／平成18年(2006)2月4日(土)～4月9日(日)  
後援／文部科学省科学研究費特定領域研究

「江戸のモノづくり」総括班、山口県、山口県教育委員会、幕末長州科学技術史研究会

特別協力／山口県埋蔵文化財センター、佐賀県立佐賀城本丸歴史館

出品協力／財團法人鍋島報效会、佐賀県立図書館、佐賀県立博物館、下関市立長府博物館、周南市美術博物館、武雄市図書館・歴史資料館、山口県文書館、山口県立山口博物館、小川忠文、郡司聰、郡司信興

### 概要

本展は、平成12年(2000)山口県埋蔵文化財センターにより、萩市内の郡司鋳造所跡が発掘調査されたことをきっかけに開催したものである。とくに同遺跡からは、幕末に長大な洋式大砲を鋳造したと考えられる、全国唯一の例とされる石組の遺構が発掘された。同遺跡は元来、長州藩の代表的な鋳物師郡司家の工房跡で、江戸時代には生活用具・農具・梵鐘など様々な鉄・銅製品を鋳造した。ところが、ペリー来航を機に、長州藩は郡司家の工房を大砲鋳造所に指定し、長大な洋式大砲をつくらせたのである。本展では、発掘された遺物や郡司家に伝えられた古文書などにより、郡司家と鋳物づくり、および砲術との関係を明らかにした。さらに、日本の伝統的な鋳造技術で洋式大砲をつくるという困難な事業に、郡司家の人々がどう立ち向かったか、その格闘の軌跡に迫った。

担当 当／道迫真吾

### 関連行事①

名称：第2回佐賀・鹿児島・萩リレーシンポジウム

テーマ：近代を開いた江戸のモノづくり—幕末の地域ネットワークと近代化の諸相—

日時：2月18日(土)14:00～17:30

場所：萩博物館講座室

内容：基調講演

「幕末期長州藩における洋学の軍事科学化」

小川亜弥子(福岡教育大学教授)

事例報告Ⅰ「下関戦争と長州砲」

保谷 徹(東京大学史料編纂所教授)

事例報告Ⅱ「幕末佐賀藩の製砲事業」

本多美穂(佐賀県立佐賀城本丸歴史館学芸員)

事例報告Ⅲ「郡司鋳造所跡の発掘調査」

上山佳彦(山口県教育庁文化財専門員)

事例報告Ⅳ「大砲鋳造石組遺構の移築復元」  
道迫真吾(萩博物館研究員)  
ディスカッション  
「科学技術史の視点からみた郡司鋳造所跡」  
鈴木一義(国立科学博物館主任研究官)  
村上 隆(奈良文化財研究所主任研究官)  
樹下明紀(幕末長州科学技術史研究会会長、コーディネーター)

#### 関連行事②

名 称:国際シンポジウム  
テーマ:海を渡った長州砲～長州ファイブも学んだロンドンからの便り～  
日 時:4月8日(土)13:00～17:00  
場 所:萩博物館講座室  
内 容:講演Ⅰ「オランダ・パリ・ロンドンの長州砲一海を渡った大砲一」  
郡司健(大阪学院大学教授)  
講演Ⅱ「日本、東アジア、西洋の大砲鋳造技術入門」  
マシュー・バッック(リバプール国立博物館学芸員)  
講演Ⅲ「ウリッジと下関におけるアームストロング砲、そして長州砲口タンダへ」  
松村昌家(大手前大学大学院教授)  
講演Ⅳ「王立大砲博物館の歴史と1783～2006のコレクション」  
マーク・スミス  
(王立大砲博物館理事・国防省上級行政官)  
※英国講師の内容は通訳付き。

#### 関連行事③

名 称:ギャラリートーク  
日 時:2月4日(土)、3月4日(土)・25日(土)、13:30～  
出版物①/展示解説図録(A4判、83ページ、1,000部)  
出版物②/第2回佐賀・鹿児島・萩リレーシンポジウム報告書(A4判、79ページ、300部)



## 企画展 「晋作と龍馬～幕末に輝いた二つの青春～」

会 期／平成18年(2006)4月22日(土)～6月18日(日)

出 品 協 力／京都国立博物館、京都大学附属図書館、下関市立長府博物館、春風文庫

#### 概 要

本展は、高杉晋作と坂本龍馬の没後140年祭を記念して開催したものである。萩で生まれた晋作、萩で久坂玄瑞の草莽崛起論に刺激され土佐を脱藩する龍馬。二人はそれぞれ別の道を歩みつつも、慶応2年(1866)6月、幕府の大軍を前にした晋作のもとに、龍馬が蒸気船に乗って駆けつけ共闘する。しかし翌3年、二人とも新しい時代を目前にしながらこの世を去った。本展では、とくに、初めて高杉・坂本両家の史料を一堂に介した点、萩の地で龍馬の血染めの屏風(京都国立博物館蔵、重要文化財)を初公開した点など、注目すべき成果が挙げられた。

担 当／坂太郎・道迫真吾

#### 関連行事①

名 称:特別記念講演会  
テーマ:「ズッコケ三人組 幕末を語る」  
日 時:5月13日(土)13:30～15:00  
講 師:那須正幹(児童文学作家)  
場 所:萩博物館講座室

#### 関連行事②

名 称:ギャラリートーク  
日 時:4月22日(土)・29日(土)、5月4日(木)・28日(日)、13:30～



**企画展  
「長州ファイブ展～密航留学生と明治維新～」  
(幕末維新の群像①)**

会期／平成18年(2006)7月1日(土)～9月3日(日)  
概要

本展は、映画が製作されたことでも話題となった「長州ファイブ」と称される5人に焦点をあてて開催したものである。その5人とは、幕末、国禁を破って命がけで英国へ渡った長州出身の伊藤博文(初代内閣総理大臣)・井上馨(初代外務大臣)・山尾庸三(工部卿)・井上勝(鉄道庁長官)・遠藤謹助(造幣局長)である。彼らは、英國で目にした近代文明・先進技術に衝撃を受け、欧米から大きく遅れをとった母国の状況に強い危機感を抱くが、若さと情熱によって西洋文明を自らの血肉と化し、帰国後はわが国への新しい時代を切り拓く先駆けとなった。本展では、当館が所蔵・保管する資料、とりわけ伊藤博文の関係資料を中心に紹介するとともに、日本の政治・経済・社会・文化のあらゆる面に変革をもたらした明治維新に、5人それぞれが果たした役割について迫った。

担当／道迫真吾・一坂太郎  
関連行事／名称:ギャラリートーク  
日時:7月2日(日)・8日(土)・15日(土)・22日(土)・29日(土)、8月5日(土)・12日(土)・19日(土)・26日(土)、9月2日(土)、13:30～



**特別展 「室町文化の精華  
大本山相国寺と金閣・銀閣の名宝」**

会期／平成18年(2006)9月15日(金)～10月25日(水)  
主催／萩市、萩市教育委員会、大本山相国寺、tysテレビ山口

特別協賛／エルクホームズ株式会社

後援／京都仏教会、毎日放送

概要

本展は、萩博物館の開館2周年を記念して特別企画として開催したものである。京都の相国寺は、14世紀後半、室町第3代將軍足利義満によって創建された臨済宗相国寺派の大本山で、義満が造営した金閣寺(鹿苑寺)、室町第8代將軍足利義政が建立した銀閣寺(慈照寺)の両寺を抱えている。相国寺・金閣寺・銀閣寺に伝わる多くの名宝の中から、主に室町文化や桃山文化を象徴する絵画や墨跡、茶道具などの逸品66点を展示した。企画展示室だけでなく萩再発見ギャラリーも活用し、京都の雰囲気を醸し出した。

担当／樋口尚樹

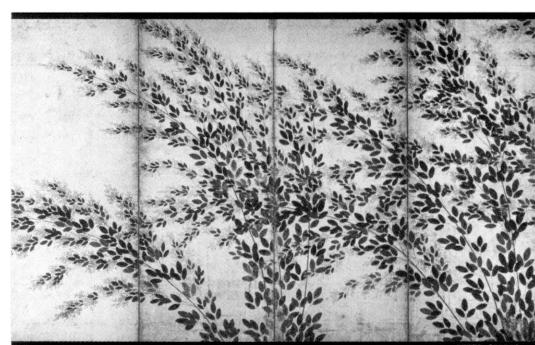
観覧料／大人1,000円、高大生600円、小中生200円  
※前売:大人800円

関連行事①

名称:ギャラリートーク  
日時:10月7日(土)・8日(日)、13:30～  
講師:村田隆志(承天閣美術館学芸員)

関連行事②

名称:呈茶席  
日時:9月24日(日)、10月1日(日)・8日(日)・22日(日)  
10:00～16:00



**室町文化の精華  
大本山相国寺と  
金閣・銀閣の名宝**

2006年9月15日(金)～10月25日(水)



## 企画展「山口県が生んだ七人の宰相展」 企画展「井上剣花坊と川柳展」

会期／平成18年(2006)11月2日(木)～12月10日(日)  
出品協力／おおすみ歴史美術館、田布施町郷土館、  
安倍晋三下関事務所、衆議院憲政記念  
館他

### 概要

企画展示室を半分に区切り、2つの企画展を同時に開催した。「山口県が生んだ七人の宰相展」は、平成18年9月に山口県で8人目の宰相となる安倍晋三総理の誕生を期に企画したものである。山口県が生んだ伊藤博文・山県有朋・桂太郎・寺内正毅・田中義一・岸信介・佐藤栄作の7人の宰相の遺墨などを展示し、彼らと萩市や山口県とのかかわりを垣間見、近代日本のリーダーの系譜を紹介した。「井上剣花坊と川柳展」は、第21回国民文化祭の川柳文芸祭が萩で開催されるに合わせて企画したものである。萩出身で近代川柳の改作復興に尽くした井上剣花坊ゆかりの資料を展示し、明治維新に連なる萩出身者ならではの意識を感じ取ってもらえるように配慮した。

担当／樋口尚樹・清水満幸



## 企画展 「幕末志士たちの手紙展～山根正次コレクション～」 (幕末維新の群像②)

会期／平成18年(2006)12月18日(月)～  
平成19年(2007)4月8日(日)

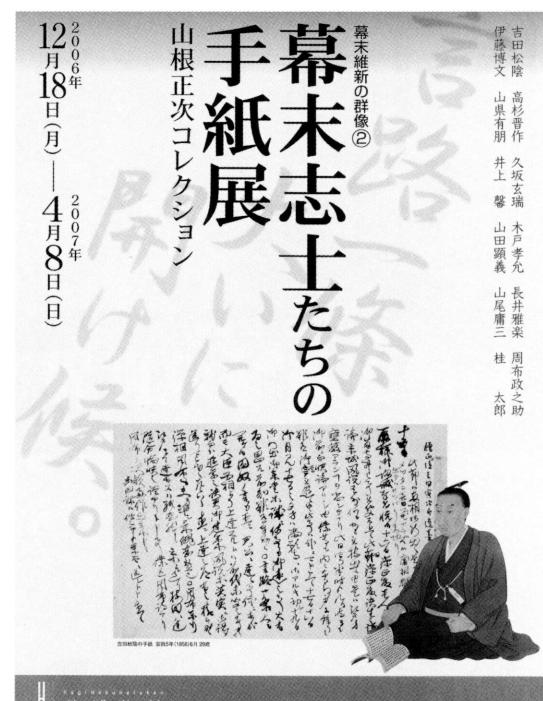
### 概要

本展は、山根正次の関係資料が子孫から萩市に寄贈されたことを機に、その披露を兼ねて開催したものである。萩出身の山根正次(1857～1925)は、東京大学医学部を卒業後、法医学及び衛生行政の分野において類稀なる業績を残し、また現在の日本医科大学創立に際しては初代校長をつとめた。本展では、寄贈された書画類の掛け軸21件、巻物21件、扁額2件そのほか良質なコレクションから、吉田松陰をはじめ久坂玄瑞や高杉晋作など、幕末維新期に活躍した志士の手紙を中心に紹介した。とくに、巻物に収められた合計173点にものぼる遺墨・手紙類は、維新に奔走した若き志士たちが残した、現代に生きる私たちへのメッセージとも呼べるものばかりであり、来場者がそれらを通じ、激動の時代に思いを馳せることができるように配慮した。

担当／道迫真吾・一坂太郎

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：12月23日(土)、1月6日(土)・20日(土)、2月3日(土)・17日(土)、3月3日(土)・17日(土)・31日(土)、4月7日(土)、13:00～



## 企画展

### 「萩藩雲谷派の世界～雪舟を受け継いだ絵師たち～」

会期／平成19年(2007)4月17日(火)～6月26日(火)

出品協力／山口県立美術館、志都岐山神社他

## 概要

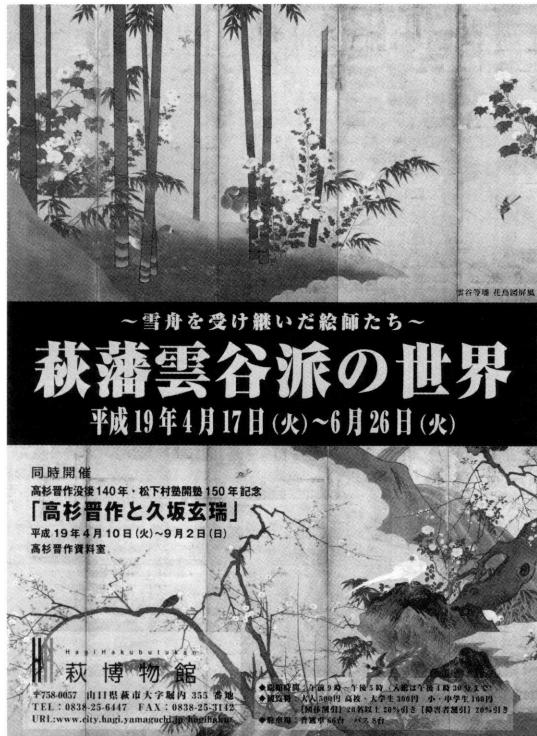
萩藩の御用絵師雲谷派は、江戸時代を通じて代々雪舟の画法を受け継ぎ、萩藩内はもとより京都の古刹などにも数々の秀作を残した。萩城下に居住し藩に重用された雲谷派は、西国一円にその名声が行き渡り、江戸中央画壇の狩野派と並び称される一大流派を形成した。萩博物館では、約100点余りの雲谷派の作品を収蔵している。これらの作品の中から各時代にわたる雲谷派の作品を選び前後期に分けて展示し、多様多彩な雲谷派の絵画を紹介した。

担当／樋口尚樹

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：4月28日(土)、6月9日(土)、13:30～

講師：菊屋吉生(山口大学教授)



## 企画展

### 「君と竜宮城へ～知られざる深海への旅～」

会期／平成19年(2007)7月7日(土)～9月2日(日)

協力／あわしまマリンパーク、魚津水族館、海の中道海洋生態科学館・マリンワールド海の中道、神奈川県立生命の星地球博物館、西海パールセンター、島根県立しまね海洋館・アクアス、シーアゲイン、下関市立しものせき水族館・海響館、台湾国立海洋大学、千葉県立中央博物館、千葉県立中央博物館分館・海の博物館、津山マリンサービス、東京海洋大学・魚類学研究室、東洋近代美術研究所、独立行政法人海洋研究開発機構、鳥取県立博物館、美術立体造形工房ARTREK、山口県外海第二栽培漁業センター、山口県漁協川尻支店、山口県漁協大島支店、山口県漁協越ヶ浜大敷部、山口県漁協三見支店、山口県漁協玉江浦支店、山口県漁協奈古支店、山口県漁協萩製氷冷蔵工場、山口県水産研究センター、足立行庸、上垣高次、内山博之、岡村初美、岡本和徳、小林修一、澄岡清、田中浩、田中正己、森下翰一、山根正次、吉村猛

## 概要

世界でいちばん未知の世界「深海」。それはどんなところで、どんな生物たちが暮らしているのだろうか？知られざる深海の環境と生物たちの不思議を、夏休みを迎える子どもたち・親子連れが堪能できる場として本展示を開催。平成19年冬に長門市川尻に漂着した「深海のモンスター」ことダイオウイカ、古来より萩近海に出没するリュウグウノツカイはじめ、人生で一度見ることができるかどうか分からない深海生物約100種150点の標本・模型・写真・映像を一堂に展示。単に展示物を見せるだけでなく、来場者が竜宮城を探検する浦島太郎になった気分で巡ることができるよう、ハンズオン式展示やプレゼントが当たるクロスワードクイズなども採用した。なお、展示場所は企画展示室だけでなく、萩再発見ギャラリーと西回廊も使用した。

担当／堀 成夫・椋木博昭

#### 関連行事①

名 称:本物・生の深海魚「竜宮の使い」タッチング!  
日 時:7月22日(日)、8月12日(日)、9月2日(日)、10:30、13:  
00、14:30、16:00(8月12日と9月2日は参加者  
多数のため、時間を変更して5~7回開催)  
場 所:萩博物館講座室・体験学習室  
定 員:20名(先着順、参加者多数のため、実際には約30  
名に変更して開催)  
内 容:「幻の魚」といわれる深海魚「リュウグウノツカ  
イ」の冷凍標本を解凍し、観察・タッチング・記念  
撮影する機会を提供。

#### 関連行事②

名 称:Mr. 竜宮城の深海のちょっとコワイトークショー  
日 時:会期中の毎週土曜日11:00、14:00、16:00  
場 所:萩再発見ギャラリー、企画展示室、萩博いきもの  
研究室、パックヤード  
定 員:20名(先着順)  
内 容:展示のキャラクター「Mr. 竜宮城」が登場し、深海  
の秘話を披露したり冷凍・液浸標本を特別に来場  
者に提示。

#### 関連行事③

名 称:竜宮城からの挑戦状!  
日 時:会期中いつでも  
場 所:萩再発見ギャラリー、企画展示室  
内 容:小中学生限定。入場時にクロスワードシートを配  
布し、展示を見て回答して応募。正解者から抽選  
で毎週50名に賞品としてタカラガイのストラッ  
プを郵送。

備 考/日本財団助成事業



## 松下村塾開塾150年記念展 「長州男児の肝っ玉～松門四天王と桂小五郎～」

会 期／平成19年(2007)9月15日(土)～12月16日(日)  
出 品 協 力／春風文庫、防府天満宮、山口県立山口博  
物 館

#### 概 要

本展は、吉田松陰が萩松本村で松下村塾を主宰して150年を迎えたことを記念して開催したものである。安政4年(1857)実家杉家に幽囚中の松陰は、叔父玉木文之進が創始した松下村塾を継承し、杉家の宅地内にある小舎を補修して塾舎とする。松陰がこの塾舎で指導したのはわずか1年余り、杉家幽囚中の期間を加えても3年に満たないものであった。しかし、奇兵隊を結成して討幕を主導した高杉晋作や、初代総理大臣となった伊藤博文など、日本の近代国家建設に当たって指導的な役割を果たした人材を輩出した。本展では、「松陰門下の四天王」とうたわれた高杉晋作・久坂玄瑞・吉田稔麿・入江九一、「塾生たちの兄貴分」であった桂小五郎(木戸孝允)の生き様を彼らが残した資料からたどった。そして、幕末維新の変革に命をかけた若き塾生たちの思いに迫った。

担 当/一坂太郎・道迫真吾

関連行事/名 称:ギャラリートーク

日 時:9月15日(土)・22日(土)、10月6日(土)・20日  
(土)、11月3日(土)・17日(土)、12月1日(土)・  
15日(土)、13:00～

出版物/展示解説図録

(萩博物館編集、松下村塾開塾150年記念誌出版委員会発行、A4判、82ページ、2,000部)



## 企画展「旅する民俗学者 宮本常一のまなざしを追って・萩」

会期／平成19年(2007)12月22日(土)  
～平成20年(2008)4月8日(火)

出品協力／周防大島町文化交流センター、府中市郷土の森博物館、未来社、宮本千晴、本間トシ、NPO萩まちじゅう博物館学芸サポート班

### 概要

山口県周防大島町(旧東和町)出身の民俗学者・宮本常一(1907～1981)は、全国各地をくまなく歩き、各地の生活文化を記録する一方、離島振興や農林業振興に力を尽くした。そして、民俗探訪の旅の中であらゆるものに目を向け、何気ない日常を10万枚に及ぶ写真に切り取った。この企画展では、宮本常一が足跡を残した1960年代の萩地域の記録写真群の一部を、パネルにまとめて紹介した。そして、宮本常一が萩地域のどのような暮らしに注目したかを読み解きながら、萩再発見を進めることができるようになつた。また、NPO萩まちじゅう博物館学芸サポート班との協働により、宮本写真群の撮影場所や内容の特定を試み、その成果を紹介した。萩地域の変化を追う中で、変わったもの、変わらないもの、変わって欲しくないものに思いをはせ、地域として将来にわたり何を保全し継承するべきかについて考える機会の提供に努めた。

担当／清水満幸

関連行事／名称：ギャラリートーク

日 時：12月22日(土)、1月19日(土)、2月9日(土)、3月8日(土)、4月5日(土)、13:30～



## 企画展 「萩・夏みかん物語～初夏の萩を10倍楽しむ♪～」

会期／平成20年(2008)4月16日(水)～6月29日(日)  
概要

夏みかんが萩の経済を支えてきたという歴史と、土堀と夏みかんの景観が観光資源として注目されてきた歴史を、夏みかん取引資料や観光キャンペーンポスター資料などの展示を通じて再発見し、「萩らしい」歴史や自然の継承や、「萩らしさ」の再生産について考えるきっかけとして本展覧会を開催した。

担当／清水満幸

関連行事／名称：ギャラリートーク

日 時：4月19日(土)、5月17日(土)、6月21日(土)  
13:30～



## 企画展

# 「風雲!昆虫城～カブトムシたちの戦記～」

会期／平成20年(2008)7月12日(土)～8月31日(日)

協力／大阪市自然史博物館、多摩動物園昆虫園、山口県立山口博物館、加藤重和、小西寛、後藤和夫、藤村哲也、山本寿三、山本雅樹

## 概要

かつて地球上のさまざまな生物は、それぞれの場所で生態系を保って共存していたが、人間が採集した生物を無責任に野外に放つようになった。それは萩も例外ではない。そこで萩の昆虫たちの生態系を「昆虫城」にたとえ、カブトムシの化身「華舞闘侍(かぶとざむらい)」が、世界の昆虫たちを旅して彼らとの攻防戦から「昆虫城」の危機を救うというストーリーで展示した。

担当／堀 成夫・椋木博昭

### 関連行事①

名称:kabuto-グランプリ

日時:7月13日(日)・20日(日)・27日(日)、8月3日(日)・10日(日)・17日(日)・24日(日)・31日(日)、10:30～、14:30～

場所:萩博物館講座室

内容:8種類のカブトムシ・クワガタムシのバトルトーナメント

### 関連行事②

名称:ドクタームッシーの昆虫実験

日時:7月13日(日)・20日(日)・27日(日)、8月3日(日)・10日(日)・17日(日)・24日(日)・31日(日)、13:00～、16:00～

場所:萩博物館講座室

内容:実物の昆虫を見たり触れたりして、昆虫の秘密を解き明かすワークショップ

### 関連行事③

名称:昆虫城への通行手形

日時:会期中いつでも

場所:萩再発見ギャラリー、企画展示室

内容:展示を見てクイズを解き、解答を応募。正解者には抽選で昆虫アクセサリーや贈呈

### 関連行事④

名称:団体専用スペシャルプラン

日時:会期中隨時

内容:PTA・町内会・子供会などを対象に、Aコース「1日昆虫学芸員」とBコース「昆虫ウルトラクイズ」を設定し、ワークショップを実施

### 関連行事⑤

名称:ギャラリートーク

日時:8月6日(水)・13日(水)・20日(水)・27日(水) 13:30～



## 明治維新140年記念特別展 「明治維新の光と影」

会期／平成20年(2008)9月15日(月)～11月11日(火)

出品協力／京都大学附属図書館、財団法人帆船日本丸記念財団横浜マリタイムミュージアム、財団法人防府毛利報公会毛利博物館、衆議院憲政記念館、春風文庫、築領八幡宮、東京国立博物館、福山誠之館同窓会、港区立郷土資料館、山口県立萩美術館・浦上記念館、山口県立山口博物館、小川忠文他

### 概要

本展は、明治維新140年を記念して開催したものである。「開国と尊王攘夷運動」「幕末維新の戦乱と兵士」「朝敵から官軍へ」「戊辰戦争と萩・会津」「日本の近代化と士族反乱」という5章立てで展示を構成し、長州藩をはじめとする西南雄藩が明治維新を主導し、勝利したという「光」の部分だけでなく、日本の近代化の過程でいかなる犠牲が払われたかという「影」の部分にも迫った。

担当／道迫真吾

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：9月17日(水)・24日(水)、13:00～、10月4

日(土)・18日(土)、11月1日(土)・11日(火)、13:30～



## 明治維新140年記念展 「明治維新と萩」

会期／平成20年(2008)11月15日(土)

～平成21年(2009)1月7日(木)

出品協力／小川忠文

### 概要

明治維新を指導する人材を生んだ、薩長土肥と称される西南雄藩のうち、長州萩の地は「明治維新胎動の地」といわれる。本展では、その主導的な役割の影に隠れて重要な役割をしたヒトやモノの存在に注目し、「黒船から町を守ろうとした人びと」「長州戦争で活躍した軍艦のその後」「戊辰戦争に活躍した萩の人びと」「萩の乱の傍らで始まった夏みかん栽培」という「維新の裏面史」ともいえる切り口から、萩の地に根差したヒトやモノを紹介した。

担当／道迫真吾

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：11月22日(土)、12月6日(土)・20日(土)、1月3

日(土)、13:30～



## 企画展「初公開! 萩博物館の宝」

会期／平成21年(2009)1月16日(金)～4月8日(水)

### 概要

萩博物館の収蔵資料は、歴史・民俗・自然などさまざまな分野におよんでいる。本展では、それらの中から最近新しく寄贈または寄託された歴史・美術関係の資料を中心に展示した。また、1960年代前半ごろの萩を紹介した映画を上映した。

担当 当／樋口尚樹・清水満幸



## 没後150年記念企画展 「至誠の人 吉田松陰」

会期／平成21年(2009)4月18日(土)～6月21日(日)

後援／山口県、山口県教育委員会、財団法人松風会

出品協力／山口県文書館、周南市美術博物館、財団法人松風会他

### 概要

萩では「松陰先生」の呼び名で多くの人々から尊敬され、親しまれている歴史上の人物、吉田松陰。この偉大な人物が江戸で処刑されてから、150年という年月が経過した。松陰はこれまでに、「明治維新の先覚者」「理想の教育者」などさまざまに評価されてきたが、現在多くの人々を魅了し続けるのはなぜか。「今に伝えられる松陰の姿たち」「資料でたどる松陰の生涯」「語りつがれる「松陰先生」の教え」の3章立てで展示を構成し、「至誠」で貫き通した「人間松陰」の魅力に迫った。

担当 当／道迫真吾

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：4月18日(土)、5月2日(土)・16日(土)・23日(土)、6月6日(土)・20日(土)、13:30～

備考／入場者に吉田松陰肖像絵葉書と吉田松陰略伝りーフレットを配布



## 特別展「マンタの海流大冒険 ～まぼろしの海神王国をめざして～」

会期／平成21年(2009)7月4日(土)～8月31日(月)  
後援／KRY山口放送、tysテレビ山口、YAB  
山口朝日放送、NHK山口放送局、萩ケ  
ーブルネットワーク株式会社

協力／海と船の博物館ネットワーク

出品協力／東京大学総合研究博物館、神奈川県立  
生命の星地球博物館、山口県立山口博物館、下関市立しものせき水族館・海  
響館、平戸市生月町博物館 島の館他

### 概要

近年、萩では海水温の上昇や珍生物の出現といった特記的現象が生じている。この現象には、「黒潮」と「対馬海流」が大きく関わっていると考えられている。「黒潮」とはどんなもので、萩にどのような影響をもたらしうるのか。そして、私たちは海の異変にどう対処すべきなのか。これらの謎や課題を、来場者が巨大エイ「マンタ」と共に、「フィリピンの海辺で」「巨大エイ『マンタ』との出会い」「いざ、黒潮探検の旅へ!」「黒潮は生命の方舟」「黒潮の海は危険もいっぱい」「黒潮の枝分かれ『対馬暖流』をたどって」「伝説の『生命の楽園』…それは萩だった!」「『生命の楽園』を守る海神とご対面」「『生命の楽園』に異変が!」「君ができること・やるべきことは?」の10のゾーンを巡って探検しながら解明できるよう展示了。

担当／堀 成夫・椋木博昭

### 関連行事①

名称：潜入!キャプテン・マンターレの秘密基地  
日時：夏休み期間中の毎週土曜日、10:30～、14:30～  
場所：萩博物館展示室等  
内容：展覧会のキャラクター「キャプテン・マンターレ」と共に展示室などを巡り、魚や貝、キャプテンの秘密を解き明かす。

### 関連行事②

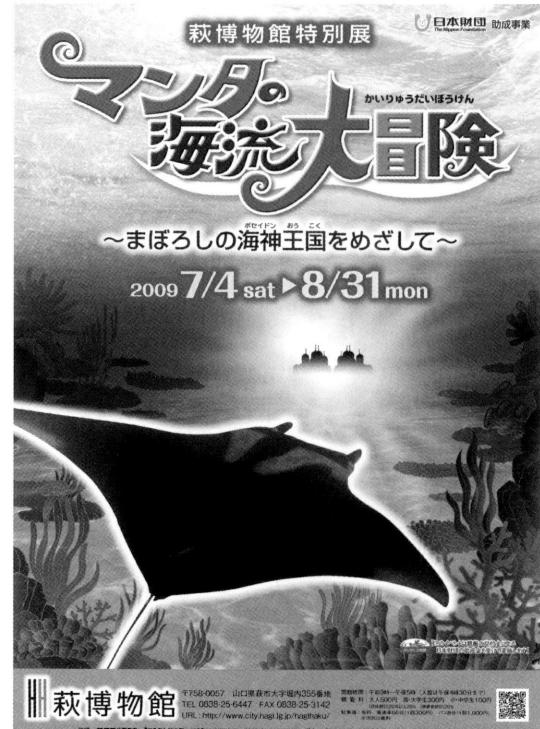
名称：海神王国への羅針盤  
日時：会期中いつでも  
場所：萩博物館展示室  
内容：「まぼろしの海神王国」をめざして、クイズを解きながら展示を観覧。抽選でタカラガイのストラップを贈呈。

### 関連行事③

名称：海の宝石・タカラガイでアクセサリーづくり  
日時：夏休み期間中の毎週土曜日、10:00～16:30  
場所：いきもの発見ギャラリー

### 関連行事④

名称：団体専用スペシャルプラン  
日時：会期中の平日(8月10日～14日は除く)  
内容：PTA・町内会・子供会などを対象に、「海のいきものウルトラクイズ」「犯人をさがせ！きみは海の捜査官」「小さな砂浜で小さな貝さがし」の3ステップのワークショップを実施。  
備考／日本財団助成事業



## 没後100年記念特別展 「伊藤博文とその時代」

会期／平成21年(2009)9月12日(土)～11月18日(水)

出品協力／国立国会図書館、兵庫県公館県政資料館、兵庫県立歴史博物館、山口県立山口博物館、伊藤公資料館、大磯町郷土資料館他

### 概要

日本は、アジアで最初の近代的な立憲制国家を建設した。その過程で、憲法制定や国会開設などに尽くした初代総理大臣伊藤博文の功績は大きいものがある。本展覧会では、「立憲国家への道」「薩長の時代」「アジアの中で」の3部構成により、日本の近代国家建設をめざした伊藤博文の軌跡をたどった。

担当／一坂太郎

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：10月4日(日)11:00～、10月12日(月)

13:30～

出版／図録『没後100年記念 伊藤博文とその時代』  
(B5版、43ページ)



## 企画展 「～タイムスリップ～城下町萩のひみつ」

会期／平成21年(2009)11月28日(土)～

平成22年(2010)1月28日(木)

### 概要

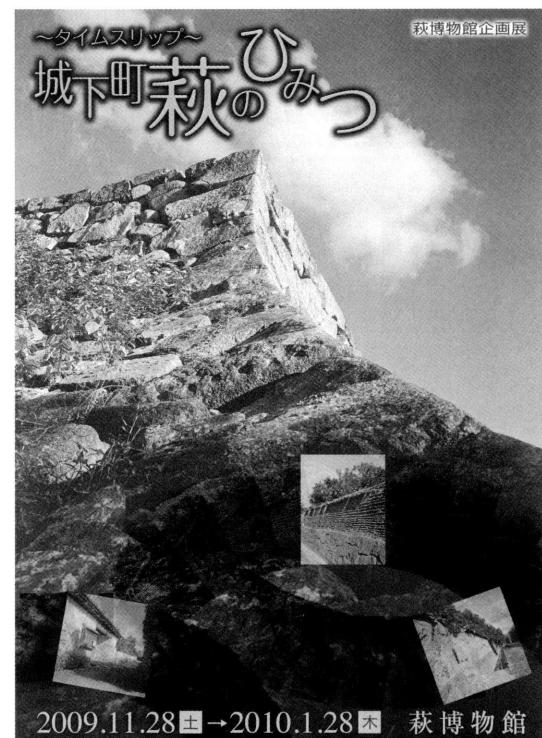
城下町・萩では、江戸時代の城下町絵図を、現在も地図として用いることができる。それは、江戸時代に形作られた「まち」が、壊されることなく継承されていることを意味する。本展覧会では、「城下町の発達」「萩三角州低湿地の開発により守られた城下町」「夏みかん栽培により守られた城下町」「鉄道の萩三角州迂回により守られた城下町」「戦災をまぬがれた城下町」「今に息づく城下町」の6つのコーナーで展示を構成し、「低湿地」「夏みかん」「鉄道」「災い」をキーワードに、変わらない「まち」のひみつを追い、今に息づく城下町を再発見する。

担当／清水満幸

関連行事／名称：ギャラリートーク

日時：11月28日(土)、12月5日(土)・19日(土)、1月

9日(土)・23日(土)、14:00～



## 企画展「初公開! 萩博物館の宝」

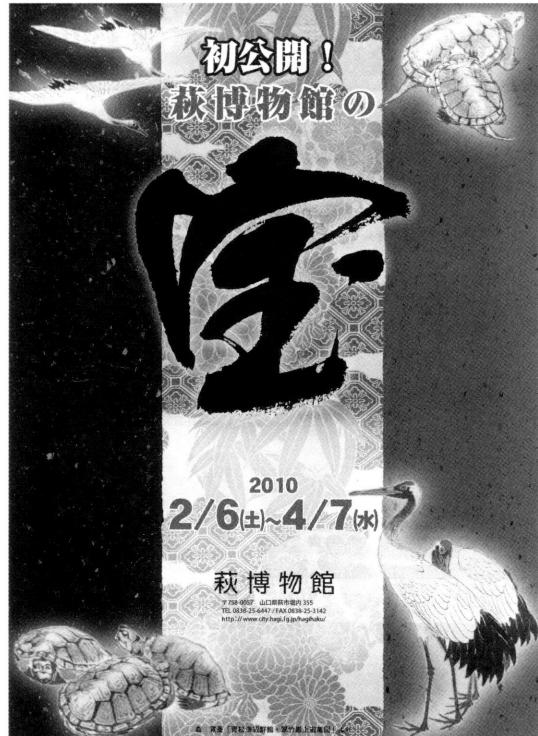
会期／平成22年(2010)2月6日(土)～4月7日(水)  
概要

萩博物館では、毎年、市内はもとより県内・外の方々から資料の寄贈や寄託を受けている。本展覧会では、近年、新しく寄贈または寄託された歴史・美術資料を中心に、当館の収蔵品の中から逸品を選びすぐり公開した。今回は、「江戸檻送前の吉田松陰」「明治の人間国宝・森寛斎」「雪舟研究の先駆者・井上蘭崖」「萩藩主毛利家ゆかりの太刀」「萩藩主毛利家と茶の湯」「吉田松陰実兄・杉民治の茶道具」「小萩人形隆盛期のリーダー・柳橋貞子」「1960年代後半の萩(昭和43年制作の映画上映)」の8つのコーナーで展示を構成した。

担当／樋口尚樹

関連行事／名称:ギャラリートーク(呈茶付き)

日 時:2月6日(土)、3月6日(土)、4月3日(土)  
14:00～



## (2) 萩再発見ギャラリー展示

萩再発見ギャラリー(現、萩学コーナー)を利用して市民参加展示を開催した。平成19年度に萩再発見ギャラリーを萩学コーナーと改め、常設展示室としたため中止した。

## 市民参加展示 「萩の天神祭り」

会期／平成16年(2004)11月11日(木)～  
平成17年(2005)1月15日(土)

出品協力／川島聖講

概要

城下町の二大祭礼に数えられる金谷天満宮の祭りにおいて、川島聖講の人たちにより、江戸時代から奉納が続けられている「聖」山車(傘鉾)を、講員の協力を得て展示、紹介した。城下町らしい歴史・文化の再発見を進めることができるように図った。

担当／清水満幸



## 市民参加展示 「萩の海 新発見・再発見2004」

会期／平成17年(2005)1月16日(日)～3月31日(木)  
概要

平成16年度、萩の海では市民をはじめ多くの人々によってさまざまな発見がなされた。そのうち、特に注目すべきものを5つのコーナーにまとめて

展示し、より多くの人々が萩の海へ探究心をもつ契機とした。5つのコーナーは次のとおり。①「南の海からの訪問者」一対馬暖流によって萩に運ばれ成長した生物を展示。②「暖流の贈り物・タカラガイ」一萩博物館がおこなっている熱帯性巻貝・タカラガイに関する調査結果を紹介。③「竜宮からの使者」一平成16年度に見つかったアカナマダなど深海魚の標本と合わせ、約60年前から当館に伝わる深海魚の剥製を特別公開。④「中学生が挑んだ微小貝の世界」一萩市立木間中学校・萩西中学校の生徒と行った微小貝についての館学連携事業の成果を発表。⑤「ダイバーが見た萩の海」一県内外のダイバーが萩近海で撮影した海中写真を展示。萩再発見ギャラリーだけでなく、東回廊でも展示。

担当 当／堀 成夫

### 市民参加展示 「萩のエコトコ見つけ隊～夏みかんの巻～」

会期／平成17年(2005)4月1日(金)～5月31日(火)  
出品協力／平成15年度「新博物館こども探検隊」  
参加者

#### 概要

平成15年度の博物館事業「新博物館こども探検隊」の参加者が、博物館が建設整備された堀内地区において発見していった「夏みかんと土壌・石垣・生垣のひみつ」について紹介した。夏みかん栽培の歴史と萩を象徴する「土壌と夏みかん」の関係について再発見を進めることができるよう図った。

担当 当／清水満幸

### 市民参加展示 「萩の住吉祭り」

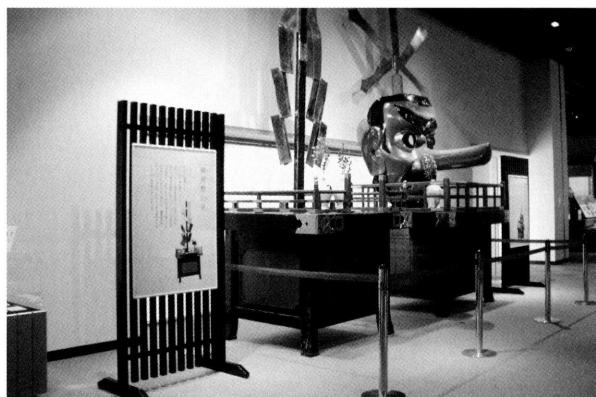
会期／平成17年(2005)6月1日(水)～7月15日(金)  
出品協力／浜崎町内会

#### 概要

城下町の二大祭礼に数えられる萩市浜崎の住吉神社の祭りにおいて、江戸時代から祭りの御神幸行列に従い、現在は祭り期間中に神社に飾り置かれる風流山車「猿田彦面山車」「御神幣山車」を、

浜崎町内会の協力を得て展示、紹介した。城下町らしい歴史・文化の再発見を進めることができるよう図った。

担当 当／清水満幸



### 市民参加展示 「親子で触れる昭和の暮らし」

会期／平成17年(2005)7月21日(木)～9月4日(日)  
出品協力／NPO萩まちじゅう博物館

#### 概要

昭和30年代から40年代の活力ある暮らしの一端に触れ、親子や来館者同士、また来館者と博物館スタッフの間で交流を進め、暮らしの中の「幸い」について考える機会とすべく、市民の協力を得て様々な触れることができる資料を掘り起こして展示、紹介した。

担当 当／清水満幸

### 市民参加展示 「萩の天神祭り～唐樋御神幣～」

会期／平成17年(2005)9月10日(土)～10月31日(月)  
出品協力／唐樋御神幣講

#### 概要

城下町の二大祭礼に数えられる金谷天満宮の祭りにおいて、唐樋町の御神幣講より奉納される御神幣山車を、唐樋町御神幣講の協力を得て展示、紹介した。城下町らしい歴史・文化の再発見を進めることができるよう図った。

担当 当／清水満幸

## 市民参加展示 「江戸時代の萩見つけ隊～石垣・土塀の巻～」

会期／平成17年(2005)11月1日(火)～11月30日(水)  
出品協力／平成14年度「新博物館こども探検隊」  
参加者

### 概要

平成14年度博物館事業「新博物館こども探検隊」の参加者が発見した江戸時代から変わらず存在する石垣・土塀のひみつ、さらには石垣・土塀に用いられている二種類の石材のひみつについて紹介した。何気なく目についているものから、萩再発見を進めることができるよう図った。

担当／清水満幸

## 開館1周年展示「萩の至宝展」

会期／平成17年(2005)11月11日(金)～11月30日(水)  
出品協力／志都岐山神社、龍藏寺

### 概要

奈良国立博物館に寄託されていた志都岐山神社所蔵の重要文化財の太刀銘「延吉」が萩博物館に移管されたのを機に、当館の開館1周年を記念して当館に寄託されている重要文化財を展示、公開した。

担当／樋口尚樹

## 市民参加展示 「知ってる？萩の海のこと2005」

会期／平成17年(2005)12月2日(金)～  
平成18年(2006)2月2日(日)

### 概要

平成17年度に市民やダイバー・漁業関係者によって萩近海でなされた発見のうち、注目すべきものを6つのコーナーにまとめて展示した。さらに多くの人々が萩の海に関心をもち、研究や探求に挑戦する契機とした。6つのコーナーは次のとおり。  
①「ダイバーが見た萩の海」—県内外のダイバーが萩近海で撮影した海中写真を展示。  
②「なぞの生物大集合」—平成17年度に萩の沿岸や海中に現れた珍しい生物や不思議な生物を写真で紹

介。  
③「暖流の贈り物・タカラガイ」—萩博物館が継続して行っている熱帶性巻貝・タカラガイの出現状況に関する調査結果を紹介。  
④「竜宮からの使者」—前年度に引き続き近海で見つかった深海魚の標本と写真を生々しく紹介。  
⑤「中学生が挑んだ萩の海～微小貝の巻～」—萩光塩学院中学校の生徒と行った微小貝についての館学連携事業の成果を発表。  
⑥「中学生が挑んだ萩の海～海岸性昆虫の巻～」—萩市立福栄中学校の生徒と行った海岸性昆虫に関する調査結果をパネルと標本で展示。萩再発見ギャラリーだけでなく、東回廊でも展示。

担当／堀 成夫・棕木博昭

### 関連行事①

名称：クイズに答えてプレゼントを当てよう!  
日時：12月24日(土)～25日(日)  
場所：萩再発見ギャラリー  
内容：クイズ用紙を受け取り、展示を見ながら解答し、全問正解すると貝や竹とんぼをプレゼント(先着30名)

### 関連行事②

名称：サンゴ礁の微小貝をさがそう!  
日時：1月1日(日)～3日(火)  
場所：萩再発見ギャラリー  
内容：萩の海と海流でつながっている奄美大島のサンゴ礁にすむ微小貝を自由に砂の中から探して持ち帰ってもらう。

### 関連行事③

名称：萩の海中写真上映会  
日時：1月8日(日)13:00～15:00  
場所：萩博物館講座室  
内容：県内外のダイバーが萩近海で撮影した海中写真・映像をスクリーンで上映。

## 市民参加展示 「江戸時代の萩見つけ隊～石垣・土塀の巻～」

会期／平成18年(2006)2月4日(土)～4月11日(火)  
出品協力／平成14年度「新博物館こども探検隊」  
参加者

### 概要

平成14年度博物館事業「新博物館こども探検隊」の参加者が発見した江戸時代から変わらず存在する石垣・土塀のひみつ、さらには石垣・土塀に用いられている二種類の石材のひみつについて紹介した。何気なく目についているものから、萩再発見を進めることができるよう図った。

担当／清水満幸

### 市民参加展示

## 「親子で触れる昭和の暮らしⅡ」

会期／平成18年(2006)4月12日(水)～6月30日(金)

出品協力／NPO萩まちじゅう博物館他

### 概要

小学校からの要望により、現在の暮らしにつながる少し前の暮らしの一端に触れ、親子や来館者同士、また来館者と博物館スタッフの間で交流を進め、暮らしの中の「幸い」について考える機会とすべく、市民の協力を得て様々な触れることができる資料を掘り起こして展示、紹介した。

担当／清水満幸

担当／山根弘也

### 市民参加展示 「昆虫ワールドin萩 —身近な虫たちの不思議な世界」

会期／平成18年(2006)12月26日(火)～

平成19年(2007)2月28日(水)

出品協力／山口県立山口博物館、島根大學生物資源科学部、下関市立豊田ホタルの里ミュージアム

### 概要

冬休みに子どもたちを対象にした昆虫展を開催した。「ガは美しい!?」というコーナーは生態写真によって、チョウとガに明確な区別はないことを紹介し、「チョウの翅の色の秘密」では、色素鱗粉と構造鱗粉の違いを図説で紹介し、標本で確かめてもらうように展示した。「空飛ぶ虫たち」では、昆虫の翅は手足が変形したものではなく、胸から直接生えていること、また種類により飛び方が違うことを紹介した。「冬の虫」では、冬にしか見られないフユシャクを紹介し、カメムシやカマキリの冬にまつわる逸話は正しいのかを紹介した。萩再発見ギャラリーだけでなく、西回廊でも展示。

担当／椋木博昭

関連行事／名称：昆虫クイズ

日時：会期中いつでも

場所：萩再発見ギャラリー

内容：全問正解者に昆虫カードをプレゼント

### 市民参加展示

## 「はしれ機関車!はしれ船!」

会期／平成18年(2006)7月1日(土)～9月3日(日)

出品協力／NPO萩まちじゅう博物館、山口県漁協  
玉江浦支店、吉村造船、萩市立越ヶ浜小学校他

### 概要

企画展「長州ファイブ」展に連動させ、日本の近代化において重要な役割を果たした鉄道や海運業にかかわる萩地域の資料を、市民参加で掘り起こし展示、紹介した。

担当／清水満幸

### 市民参加展示 「萩の星空展」

会期／平成18年(2006)10月29日(日)～12月25日(月)

出品協力／萩天文同好会他

### 概要

萩博物館は前身である萩市郷土博物館時代から萩天文同好会とともに様々な天文に関する活動を行っている。本展示では、これまでに撮影された天体写真や萩に関わる天文の歴史資料を展示し、江戸期から現在に至るまで、萩において行われてきた天文に関する活動を紹介した。また、体験型の展示を含めることによって、天文に対して、より一層興味を喚起し、理解を深めるように努めた。萩再発見ギャラリーだけでなく、東回廊でも展示。

### 市民参加展示 「魅せます!萩の海」

会期／平成19年(2007)3月1日(木)～5月15日(月)

### 概要

色とりどりの魚や貝たちに満ちあふれる、美しく豊かな萩の海。この海が今のままの姿であってほしいと、誰もが思っているであろう。しかし近年この海に変化が生じていることを5つの切り口から紹介し、多くの人々が萩の海の魅力を未来に引き継ぐために「やるべきこと」「できること」を自分なりに考える契機とした。5つの切り口一コーナーは次のとおり。  
①「ダイバーが見た萩の海」一県内外のダイバーが萩近海の海中写真を展示し、熱帯性の生物が増えていることを紹介。  
②

「ザ・シェリング・バー」—カウンター式の展示台に萩付近の海岸の貝殻を陳列。自由に触ってもらいうことで、萩の海の生物の多様性を実感してもらった。③「萩の海が、少し変？」—今まで萩にいないと思われていた生物が出現している事実を標本や写真で紹介。④「萩の海で、いったい何が起きているの？」—南の海出身の巻貝・タカラガイに注目し、萩近海の水温変化とタカラガイの出現状況を比較。水温上昇に連動して熱帶性生物が増えていることを紹介。⑤「私たちは、これからどうすればいい？」—萩の海の魅力を未来に引き継ぐために、我々はどうすればよいのか。すでに行動を起こしているさまざまな人々の思いや活動内容を紹介。萩再発見ギャラリーだけでなく、東回廊でも展示。

担当／堀 成夫

関連行事／名称：クイズに答えてタカラガイのストラップを当てよう

日 時：会期中いつでも

場 所：萩再発見ギャラリー

内 容：萩の海の魅力を未来に引き継ぐ方法を記した5つの箱から一つを選び、クイズに挑戦して応募。全問正解者から抽選で週に3名、タカラガイのストラップを郵送。

### (3) テーマ展

エントランスホールなどでトピック的な小展示を開催。特別展・企画展の展示準備により企画展示室が閉鎖している際に、少しでも多くの展示を観覧していただきため平成21年度から実施している。

#### 知られざる萩の焼物 —小畠焼と絵付師吉田道亭—

会 期／平成21年(2009)4月4日(土)～9月18日(金)

##### 概 要

江戸時代の終わりに萩藩の産業振興策により開窯された小畠焼を紹介するとともに、小畠焼の絵付師吉田道亭の作品を展示した。

#### 知られざる萩の焼物 —須佐焼—

会 期／平成21年(2009)9月19日(土)～12月14日(月)

出 品 協 力／萩市立須佐歴史民俗資料館他

##### 概 要

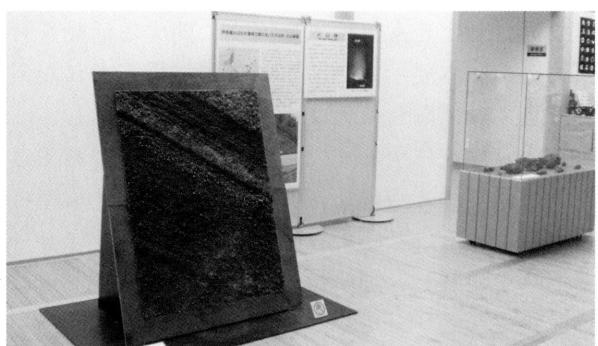
須佐歴史民俗資料館との連携事業の一環として、萩藩永代家老益田家の御用窯であった須佐焼を展示了。

#### 伊良尾火山の 地層剥ぎ取り標本と火山弾

会 期／平成21年(2009)12月15日(火)～  
平成22年(2010)4月9日(金)

##### 概 要

平成18年（2006）農道工事によって発見された、萩市と阿武町にまたがる伊良尾火山の地層の剥ぎ取り標本と火山弾を展示了。須佐歴史民俗資料館と弥富公民館でも同時展示。



## 6. 入館者数の推移

平成16年(2004)11月11日の開館以後5年間で、当館の入館者数は、ほぼ9万人から10万人の間で安定的に推移している。当館では、毎年の入館者予想を9万人台と設定し、目標10万人を目指している。

毎年、4～5回開催している特別展・企画展別の入館者数では、平成19年度から開催している夏期の展覧会が多くの入館者数を記録している。こ

れは夏休み期間中の親子づれをターゲットにした生物系の展覧会で、「夏は萩博物館の展覧会へ」という合言葉が定着した。冬期開催の企画展は、冬場の人が動かない期間なので、他の期間と比べて入館者が減少気味である。時節や時宜にふさわしい内容の展覧会を企画し、展示の来場対象者を設定することによって、それに沿った有効な広報宣伝を行うよう努めている。

### 萩博物館入館者数

年 度	総入館者数	有料入館者数	無料入館者数
平成16年度	72,793	66,129	6,664
平成17年度	101,063	96,348	4,715
平成18年度	88,400	83,257	5,143
平成19年度	89,375	80,934	8,441
平成20年度	99,657	91,265	8,392
平成21年度	91,389	82,785	8,604
累 計	542,677	500,718	41,959

※平成16年度は5か月。

## 萩博物館展示別入館者数

	展 示 名	会 期	日 数	総入館者数(人)	1日あたり(人)
1	毛利輝元と萩開府	2004.11/11~12/10	30	29,543	985
	休 み		7	2,865	409
2	明治維新をさえた萩の人びと	2004.12/18~2005.2/13	58	19,204	331
	休 み		5	705	141
3	萩の花 ~椿・サザンカ・梅・桜~	2005.2/19~4/17	58	19,553	337
	休 み		10	1,722	172
1	萩博物館収蔵品展—お初にお目にかかります	2005.4/28~6/26	60	21,742	362
	休 み		12	1,981	165
2	「宝島」の作者スティーヴンソンがつづる吉田松陰伝	2005.7/9~9/4	58	18,091	312
	休 み		12	2,573	214
3	大萩市の文化財	2005.9/17~10/16	30	10,481	349
	休 み		12	3,789	315
4	出土品が語る江戸時代の萩—発掘された城下町	2005.10/29~2006.1/22	86	18,587	216
	休 み		12	1,150	95
5	幕末長州藩の科学技術～大砲づくりに挑んだ男たち～	2006.2/4~4/9	65	11,882	183
	休 み		12	1,543	129
1	晋作と龍馬～幕末に輝いた二つの青春～	2006.4/22~6/18	58	19,278	332
	休 み		12	1,565	130
2	長州ファイブ展～密航留学生と明治維新～	2006.7/1~9/3	65	15,870	244
	休 み		11	1,446	161
3	大本山相国寺と金閣・銀閣の名宝	2006.9/15~10/25	41	17,014	415
	休 み		7	1,430	204
4	井上剣花坊と川柳展・山口県が生んだ七人の宰相展	2006.11/2~12/10	39	9,804	251
	休 み		7	691	99
5	幕末志士たちの手紙展～山根正次コレクション～	2006.12/18~2007.4/8	112	17,533	157
	休 み		9	898	100
1	萩藩雲谷派の世界～雪舟を受け継いだ絵師たち～	2007.4/17~6/26	71	19,109	269
	休 み		9	898	100
2	君と竜宮城へ～知られざる深海への旅～	2007.7/7~9/2	58	26,408	455
	休 み		12	2,139	178
3	長州男児の肝っ玉～松門四天王と桂小五郎～	2007.9/15~12/16	93	23,690	255
	休 み		5	404	81
4	旅する民俗学者 宮本常一のまなざしを追って・萩	2007.12/22~2008.4/8	109	18,307	168
	休 み		7	999	143
1	萩・夏みかん物語～初夏の萩を10倍楽しむ♪～	2008.4/16~6/29	75	17,749	237
	休 み		12	1,967	164
2	風雲！昆虫城～カブトムシたちの戦記～	2008.7/12~8/31	51	28,848	566
	休 み		14	3,558	254
3	明治維新の光と影	2008.9/15~11/11	58	20,390	352
	休 み		3	1,093	364
4	明治維新と萩	2008.11/15~2009.1/7	54	12,384	229
	休 み		8	742	93
5	初公開！萩博物館の宝	2009.1/16~4/8	54	11,961	222
	休 み		9	888	99
1	至誠の人 吉田松陰	2009.4/18~6/21	65	17,199	265
	休 み		7	1,254	179
2	マンタの海流大冒険～まぼろしの海神王国をめざして～	2009.7/4~8/31	59	32,565	552
	休 み		11	1,286	117
3	伊藤博文とその時代	2009.9/12~11/18	68	18,018	265
	休 み		9	1,907	212
4	～タイムスリップ～ 城下町萩のひみつ	2009.11/28~2010.1.28	62	6,184	100
	休 み		8	693	87
5	初公開！萩博物館の宝	2010.2/6~4/7	61	11,520	189

## 7. 教育普及活動

開館以来、各分野においてさまざまな講座やワークショップ、観察会、観望会などを実施してきた。また、平成20年度からは、学芸職員が直接学校へ出向き学校の教育活動の支援を行う「出前授業」（市内と阿武町内の小・中学校が対象）と、博物館の展示室や講座室などをを利用して学芸職員による学校の教育活動の支援を行う「館内授業」（市内・市外の小・中学校が対象）を教育普及活動の一環として組み込んだ。年度ごとに、各分野において「出前授業」と「館内授業」のメニュー

をつくり、当館のホームページに申し込み書と併せて掲載し、学校の利用の促進を図った。

当館が主催あるいは共催する普及行事以外にも、公民館や町内会などの団体が実施する講座や探訪会などに出向くとともに、社会教育団体や大学などが来館して実施する研修会や勉強会などに対しても積極的に支援を行っている。

また、萩市の広報誌に執筆したり、地元のローカル新聞に定期的に連載したりして、博物館が蓄積した各分野にわたる情報を発信している。

### 平成16年度普及活動一覧（当館主催行事のみ）

行 事 名	内 容	期 日	参 加 者 数	場 所・時 間
館学連携支援事業 「知ってる？萩の海のこと」	木間小学校と連携した海の生物をテーマにしたワークショップ	9月～3月	毎回8	倉江ノ浜・萩博物館
館学連携支援事業 「知ってる？萩の海のこと」	萩西中学校と連携した海の生物をテーマにしたワークショップ	9月～3月	毎回約60	倉江ノ浜・萩博物館
開館記念特別観望会	萩博物館の開館を記念した天体観望	11月12日～ 12月11日 毎週金・土	136	萩博物館天体観望室 19:30～21:00
ふれあいボックスで萩再発見	「萩学なんでもボックス」を使ったワークショップ	1月15日(土)	約30	大島公民館
ふれあいボックスで萩再発見	「萩学なんでもボックス」を使ったワークショップ	1月23日(日)	約35	見島公民館
ふれあいボックスで萩再発見	「萩学なんでもボックス」を使ったワークショップ	1月29日(土)	約30	三見公民館
ふれあいボックスで萩再発見	「萩学なんでもボックス」を使ったワークショップ	1月30日(日)	約35	大井公民館
ふれあいボックスで萩再発見	「萩学なんでもボックス」を使ったワークショップ	2月12日(土)	約30	中央公民館
実験講座 「北浦地方のイカとイカ漁」	イカをテーマにした講義とワークショップ	3月13日(日)	約35	萩博物館講座室
特別講演 「貝～その知られざる秘密」	東京水産大学の教官による講演	3月27日(日)	約80	萩博物館講座室
定例天体観望会「星の会」	定例の天体観望と天文の話	毎週金曜日	133	萩博物館天体観望室 19:30～21:00

## 平成17年度普及活動一覧（当館主催行事のみ）

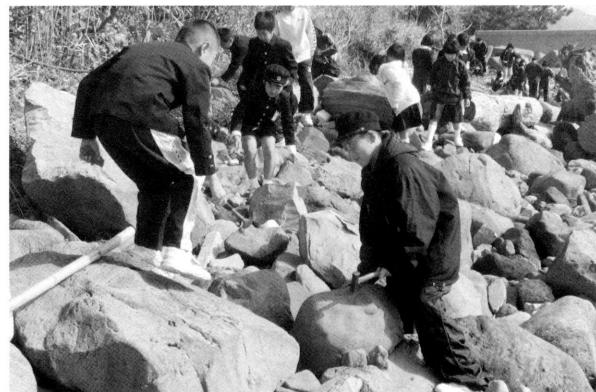
行 事 名	内 容	期 日	参 加 者 数	場 所・時 間
タカラガイ調査	市民を対象にしたタカラガイの調査活動	4月18日(月)	12	倉江ノ浜
館学連携支援事業	萩光塩学院中学校と連携した海洋生物をテーマにしたワークショップ	5月16日(月)	21	萩光塩学院中学校
館学連携支援事業	萩光塩学院中学校と連携した海洋生物をテーマにしたワークショップ	5月20日(金)	21	萩光塩学院中学校
なんでもボックスを作ろう	小学生を対象にボックスに入れる萩をテーマにした展示物を作るワークショップ	5月20日(金)	約35	明倫小学校
ツバメがすむ町	ツバメの巣をテーマにした町歩きのワークショップ	5月21日(土)	約15	萩博物館・堀内地区・平安古地区
タカラガイ調査・海藻おしば教室	市民を対象にしたタカラガイの調査と海藻を利用したおしば作り	5月22日(日)	3	倉江ノ浜
館学連携支援事業	萩光塩学院中学校と連携した海洋生物をテーマとしたワークショップ	5月23日(月)	21	倉江ノ浜
館学連携支援事業	萩光塩学院中学校と連携した海洋生物をテーマにしたワークショップ	5月30日(月)	21	萩博物館
なんでもボックスを作ろう	小学生を対象にボックスに入れる萩をテーマにした展示物を作るワークショップ	6月3日(金)	約35	明倫小学校
館学連携支援事業	萩光塩学院中学校と連携した海洋生物をテーマにしたワークショップ	6月6日(月)	21	萩博物館
古文書を読む会	幕末の志士の手紙の講読	6月7日(火)	約80	萩博物館講座室 10:00～11:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	6月7日(火)	約80	萩博物館講座室 11:00～12:00
ツバメがすむ町	ツバメの巣をテーマにした町歩きのワークショップ	6月11日(土)	約15	萩博物館・玉江地区
タカラガイ調査	市民を対象にしたタカラガイの調査活動	6月12日(日)	7	倉江ノ浜
タカラガイ調査	市民を対象にしたタカラガイの調査活動	6月20日(月)	5	倉江ノ浜
館学連携支援事業	市内の小中学校(むつみ小学校)と連携した天文教室	6月20日(月)	30	萩博物館天体観望室 20:00～21:00
ツバメがすむ町	ツバメの巣をテーマにした町歩きのワークショップ	6月25日(土)	約10	萩博物館・浜崎地区
館学連携支援事業	萩光塩学院中学校と連携した海洋生物をテーマにしたワークショップ	7月4日(月)	21	萩博物館
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	7月5日(火)	約80	萩博物館講座室 10:00～12:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(紫福小学校)と連携した天文教室	7月5日(火)	33	紫福小学校 20:00～21:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(川上小学校)と連携した天文教室	7月7日(木)	58	川上小学校 20:00～21:00

行 事 名	内 容	期 日	参 加 者 数	場 所・時 間
館学連携支援事業	萩光塩学院中学校と連携した 海洋生物をテーマにした ワークショップ	7月11日(月)	21	萩博物館
ツバメがすむ町	ツバメの巣をテーマにした町歩きの ワークショップ	7月16日(土)	約10	萩博物館・浜崎地区
夏休み生物採集・観察会	海岸に生息する生物の採集と観察	7月23日(土)	約15	倉江ノ浜
館学連携支援事業	市内の小中学校(鈴野川小学校)と 連携した天文教室	7月23日(土)	21	鈴野川小学校グラウンド
夏休み生物研究相談会	貝類の標本づくり	7月27日(水)	5	萩博物館
古文書を読む会	幕末の志士の手紙の講読	8月2日(火)	約80	萩博物館講座室 10:00～11:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	8月2日(火)	約80	萩博物館講座室 11:00～12:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(相島小中学校)と 連携した天文教室	8月6日(土)	30	相島小中学校グラウンド 20:00～21:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(小川小学校)と 連携した天文教室	8月9日(火)	30	小川小学校グラウンド 20:00～21:00
夏休み生物研究相談会	貝類の名前調べ	8月24日(水)	3	萩博物館
夏休み生物研究相談会	カワニナについて	8月27日(土)	2	萩博物館
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	9月6日(火)	約80	萩博物館講座室 10:00～12:00
萩の海で熱帯魚を探そう	萩の海に生息する熱帯魚の観察	9月11日(日)	6	倉江ノ浜
館学連携支援事業	市内の小中学校(明木小学校)と 連携した天文教室	9月12日(月)	20	明木小学校グラウンド 20:00～21:00
館学連携支援事業	福栄中学校と連携した海洋生物と 昆虫をテーマにしたワークショップ	9月22日(木)	15	倉江ノ浜
館学連携支援事業	福栄中学校と連携した昆虫をテーマ にしたワークショップ	9月30日(金)	7	倉江ノ浜
古文書を読む会	幕末の志士の手紙の講読	10月4日(火)	約80	萩博物館講座室 10:00～12:00
ボランティアメッセ2005 出展	萩博物館を中心としたボラン ティアメッセに「萩学なんでもボッ クス」「天文」「クワガタバトルトーナ メント」の3つのブースを出展	10月9日(日)	約120	萩博物館天体観望室 木戸孝允旧宅広場
館学連携支援事業	福栄中学校と連携した海洋生物と 昆虫をテーマにしたワークショップ	10月13日(木)	15	倉江ノ浜
館学連携支援事業	福栄中学校と連携した昆虫をテーマ にしたワークショップ	10月19日(水)	7	倉江ノ浜
火星と秋の星座をみよう	火星と秋の星座の観察	10月29日(土) ・30日(日)	25	萩博物館天体観望室
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	11月1日(火)	約80	萩博物館講座室 10:00～12:00
館学連携支援事業	福栄中学校と連携した海洋生物と 昆虫をテーマにしたワークショップ	11月4日(金)	15	倉江ノ浜
館学連携支援事業	福栄中学校と連携した昆虫をテーマ にしたワークショップ	11月11日(金)	7	倉江ノ浜
館学連携支援事業	福栄中学校と連携した海洋生物と 昆虫をテーマにしたワークショップ	11月15日(火)	15	萩博物館
館学連携支援事業	福栄中学校と連携した海洋生物と 昆虫をテーマにしたワークショップ	11月16日(水)	15	萩博物館

行事名	内容	期日	参加者数	場所・時間
海からの贈り物でアクセサリーをつくろう	海岸で貝類を採集し、アクセサリーをつくるワークショップ	11月20日(日)	12	倉江ノ浜・萩博物館
館学連携支援事業	福栄中学校と連携した昆虫をテーマにしたワークショップ	11月24日(木)	7	萩博物館
古文書を読む会	幕末の志士の手紙の講読	12月6日(火)	約80	萩博物館講座室 10:00~11:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	12月6日(火)	約80	萩博物館講座室 11:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	1月10日(火)	約80	萩博物館講座室 10:00~12:00
萩の色をさぐる	藍染めや草木染めのワークショップ	1月14日(土)	約20	萩博物館体験学習室
萩の色をさぐる	藍染めや草木染めのワークショップ	1月21日(土)	約20	萩博物館体験学習室
萩の色をさぐる	藍染めや草木染めのワークショップ	2月4日(土)	約20	三見公民館
萩の色をさぐる	藍染めや草木染めのワークショップ	2月6日(月)	約40	明倫小学校
萩の色をさぐる	藍染めや草木染めのワークショップ	2月27日(月)	約15	萩博物館体験学習室
萩の色をさぐる	藍染めや草木染めのワークショップ	3月10日(金)	約30	椿西小学校
大島探検	大島小学校6年生とカンカン石で石琴をつくるワークショップ	3月20日(月)	約25	大島小学校
星の会(定例観望会)	天体観望と天文の話	毎週金曜日	794	萩博物館天体観望室 19:30~21:00



「ふれあいボックスで萩再発見(大井公民館)」(平成16年度)



「大島探検」(平成17年度)



「萩の色をさぐる」(平成17年度)



「萩の色をさぐる(明倫小学校)」(平成17年度)

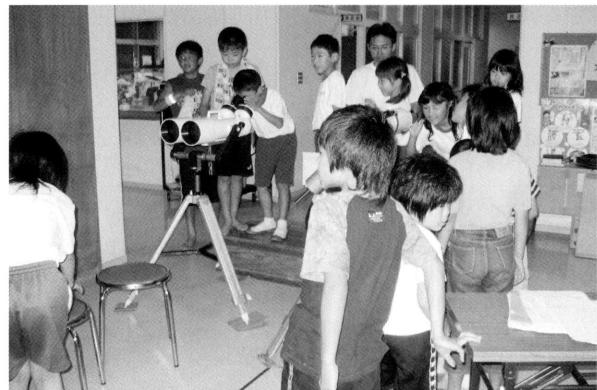
## 平成18年度普及活動一覧（当館主催行事のみ）

行 事 名	内 容	期 日	参加者数	場所・時間
萩の色をさぐる	藍染めや草木染めのワークショップ	4月6日(木)	約30	椿西小学校
土星・木星と春の星座をみよう	土星・木星と春の星座の観察	5月3日(水)～5日(金)	113	萩博物館天体観望室 19:30～21:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(むつみ小学校)と連携した天文教室	5月24日(水)	45	萩博物館天体観望室 20:00～21:00
館学連携支援事業 「陸に昆虫・海に貝～知ってる?大島のこと」	大島中学校と連携した昆虫と貝類をテーマにしたワークショップ	5月～2月(20回)	300	大島・大島中学校・萩博物館
春の貝殻コレクションツアー	萩の浜辺で貝の採集とワークショップ	6月3日(土)	10	倉江ノ浜
ヒメボタル鑑賞会	ヒメボタルの生態観察	6月3日(土)	20	指月山
初夏の萩博・萩再発見ツアー 相島の巻	相島の自然、生活文化の体験探訪	6月18日(日)	約30	相島
古文書を読む会(初級編)	初心者のための古文書講読	6月20日(火)	約60	萩博物館講座室 10:00～12:00
古文書を読む会(初級編)	初心者のための古文書講読	6月27日(火)	約60	萩博物館講座室 10:00～12:00
古文書を読む会(初級編)	初心者のための古文書講読	7月4日(火)	約60	萩博物館講座室 10:00～12:00
古文書を読む会(初級編)	初心者のための古文書講読	7月11日(火)	約60	萩博物館講座室 10:00～12:00
古文書を読む会(初級編)	初心者のための古文書講読	7月18日(火)	約60	萩博物館講座室 10:00～12:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(弥富小学校)と連携した天文教室	7月20日(木)	31	弥富小学校
もう迷わない・焦らない! 海の生きもの研究相談室	海洋生物に関する夏休みの自由研究等の相談会	7月21日(金)～8月31日(木)	28組	萩博物館
昆虫の王様! カブト&クワガタをさがそう!	カブトムシとクワガタムシの観察会	7月22日(土)	雨天中止	
カブト&クワガタの飼育と標本の作り方	カブトムシとクワガタムシの飼育と標本の作り方教室	7月23日(日)	43	萩博物館講座室
古文書を読む会(初級編)	初心者のための古文書講読	7月25日(火)	約60	萩博物館講座室 10:00～12:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(福川小学校)と連携した天文教室	7月25日(火)	21	福川小学校 20:00～21:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(川上小学校)と連携した天文教室	7月29日(土)	29	川上グラウンド 20:00～21:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(佐々並小学校)と連携した天文教室	7月31日(月)	40	佐々並小学校グラウンド 20:00～21:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	8月1日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00～12:00
星の動きを調べよう	星の動きを観察するワークショップ	8月5日(土) 8月19日(土)	45	萩博物館天体観望室 19:30～21:00
流れ星と夏の星座をみよう	ペルセウス座流星群と夏の星座の観察	8月11日(金)～13日(日)	161	萩博物館職員駐車場 19:30～21:30
灯火で夜の虫を集めよう!	ライトトラップで夜の光に集まる昆虫の観察	8月19日(土)	雨天中止	
館学連携支援事業	市内の小中学校(多磨小学校)と連携した天文教室	8月21日(月)	66	多磨小学校グラウンド
夏の萩博・萩再発見ツアー シジミ釣り(?!)&手長エビ獲り	シジミと手長エビ獲りの体験探訪	8月22日(火)	約20	橋本川

行 事 名	内 容	期 日	参 加 者 数	場 所・時 間
館学連携支援事業	市内の小中学校(越ヶ浜小学校)と連携した天文教室	8月28日(月)	31	越ヶ浜小学校グラウンド
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	8月29日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	10月3日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	11月7日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00~12:00
開館2周年記念・現存最古のトーキーフィルム上映会	田中義一首相の演説を記録したトーキーフィルムの上映	11月11日(土)	約40	萩博物館講座室
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	12月5日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	1月9日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	2月6日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	3月6日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00~12:00
星の会(定例観望会)	天体観望と天文の話	毎週金曜日	1,035	萩博物館天体観望室 19:30~21:00



「陸に昆虫・海に貝～知ってる?大島のこと」  
(平成18年度)



「天文教室(弥富小学校)」  
(平成18年度)

## 平成19年度普及活動一覧（当館主催行事のみ）

行 事 名	内 容	期 日	参加者数	場所・時間
春の昆虫観察会	ギフチョウなど春に見られる昆虫の観察	4月8日(日)	12	むつみ伏馬山
土星と春の星座をみよう	土星と春の星座の観察	5月3日(木)～5日(土)	89	萩博物館天体観望室 19:30～21:00
バックヤードツアー	「国際博物館の日」を記念して博物館のバックヤードの見学会	5月18日(金)	約40	萩博物館資料整理作業室・特別資料調査室・収蔵庫・天体観望室
初夏の昆虫観察会	ミカドアゲハなど初夏に見られる昆虫の観察	5月27日(日)	20	萩博物館講座室 指月公園
ヒメボタル観察会	ヒメボタルの生態観察	6月2日(土)	12	萩博物館講座室・指月山
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	6月5日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00～12:00
月面をみよう	月の表面の観察	6月22日(金) ～24日(日)	106	萩博物館天体観望室 19:30～21:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	7月3日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00～12:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(むつみ中学校)と連携した天文教室	7月12日(木)	19	むつみ中学校 20:00～21:00
金星と木星を見よう	金星と木星の観察	7月13日(金) ～15日(日)	19	萩博物館天体観望室 19:30～21:00
昆虫の夜間観察会	ライトトラップで夜の光に集まる昆虫の観察	7月15日(日)	雨天中止	
館学連携支援事業	市内の小中学校(紫福小学校)と連携した天文教室	7月19日(木)	33	紫福小学校グラウンド 20:00～21:00
昆虫if(インフォメーション)	昆虫に関する夏休みの相談会	夏休み期間中の 毎週金・日曜日	310	萩博物館情報センター
館学連携支援事業	市内の小中学校(育英小学校)と連携した天文教室	7月23日(月)	82	須佐中学校グラウンド 20:00～21:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(白水小学校)と連携した天文教室	7月25日(水)	46	白水小学校グラウンド 20:00～21:00
夏休み昆虫教室	昆虫の採集と標本作り	8月5日(日)	20	萩博物館講座室 田床山
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	8月7日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00～12:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(小川小学校)と連携した天文教室	8月8日(水)	49	小川小学校グラウンド 20:00～21:00
流星群と夏の星座を見よう	ペルセウス座流星群と夏の星座の観察	8月12日(日) ～14日(火)	187	萩博物館職員駐車場 19:30～21:30
館学連携支援事業	市内の小中学校(川上中学校)と連携した天文教室	8月16日(木)	15	川上中学校グラウンド 20:00～21:00
月食をみよう	月食の観察	8月28日(火)	63	萩博物館天体観望室 19:30～21:00
館学連携支援事業	市内の小中学校(明木小学校)と連携した天文教室	9月6日(木)	90	明木小学校 20:00～21:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	9月25日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00～12:00
お月見をしよう	中秋の名月の観察	9月25日(火)	90	萩博物館天体観望室 19:30～21:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	10月2日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00～12:00

行 事 名	内 容	期 日	参 加 者 数	場 所・時 間
天王星・海王星をみよう	天王星と海王星の観察	10月12日(金) ～14日(日)	106	萩博物館天体観望室 19:30～21:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	11月6日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00～12:00
開館3周年記念 常設展示ギャラリートーク	常設展示室の展示解説	11月11日(日)	約30	萩博物館常設展示室
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	12月4日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00～12:00
火星とアンドロメダ銀河をみよう	火星とアンドロメダ銀河の観察	12月7日(金) ～9日(日)	40	萩博物館天体観望室 19:30～21:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	1月8日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00～12:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	2月5日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00～12:00
星の一生をみよう	冬の星座の観察と星の一生の話	2月8日(金) ～10日(日)	45	萩博物館天体観望室 19:30～21:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	3月4日(火)	約70	萩博物館講座室 10:00～12:00
星の会(定例観望会)	天体観望と天文の話	毎週金曜日	1,057	萩博物館天体観望室 19:30～21:00



「バックヤードツアー」(平成19年度)



「初夏の昆虫観察会」(平成19年度)

## 平成20年度普及活動一覧（当館主催行事のみ）

行 事 名	内 容	期 日	参 加 者 数	場 所・時 間
土星と春の星座をみよう	土星と春の星座の観察	5月2日(金)～4日(日)	96	萩博物館天体観望室 19:30～21:00
夏みかん畑の生き物の秘密	夏みかん畑の生き物の観察	5月10日(土)	雨天中止	
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	6月3日(火)	52	萩博物館講座室 10:00～12:00
移動天文教室	市内小中学校(福川小学校)と連携した天文教室	6月5日(木)	25	福川小学校 20:00～21:00
移動天文教室	市内小中学校(むつみ小学校)と連携した天文教室	6月11日(水)	32	萩博物館天体観望室 20:00～21:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	7月1日(火)	49	萩博物館講座室 10:00～12:00
月面をみよう	月の表面の観察	7月11日(金) ～13日(日)	67	萩博物館天体観望室 20:00～21:30
夜の昆虫城探検	夜のカブトムシ・クワガタムシの観察	7月26日(金)	23	むつみ昆虫王国・伏馬山 19:00～22:00
移動天文教室	市内小中学校(佐々並中学校)と連携した天文教室	7月28日(月)	24	佐々並中学校 グラウンド 20:00～21:00
移動天文教室	市内小中学校(川上小学校)と連携した天文教室	7月30日(水)	23	川上小学校 20:00～21:00
移動天文教室	市内小中学校(鈴野川小学校)と連携した天文教室	7月31日(木)	10	鈴野川小学校 グラウンド 20:00～21:00
移動天文教室	市内小中学校(田万川中学校)と連携した天文教室	8月2日(土)	23	田万川中学校 グラウンド 20:00～21:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	8月5日(火)	49	萩博物館講座室 10:00～12:00
移動天文教室	市内小中学校(大島小学校)と連携した天文教室	8月5日(火)	23	大島中学校グラウンド 10:00～15:00
君だけの昆虫城を作ろう!	昆虫の採集と標本作り	8月9日(土)	9	笠山・萩博物館体験学習室 10:00～15:00
外国から来た生き物を探そう!	外来帰化生物の観察	8月23日(土)	雨天中止	
木星と夏の星座をみよう	木星と夏の星座の観察	8月29日(金) ～31日(日)	25	萩博物館天体観望室 20:00～21:30
企画展「風雲!昆虫城」 関連行事	ドクタームッシーの昆虫実験室 Kabuto-1グランプリ	7月13・20・27日 8月3・10・17・24 31日	990	萩博物館講座室 1日各2回
企画展「風雲!昆虫城」 団体専用スペシャルプラン	1日昆虫学芸員 昆虫ウルトラクイズ	7月17・18・22・23・ 24・25・28・29・30・ 31日 8月5・6・7・19・26日	624	萩博物館展示室・ 講座室 随時
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	9月2日(火)	47	萩博物館講座室 10:00～12:00
水の中の昆虫城をのぞいてみよう!	水辺の昆虫の観察	9月7日(日)	雨天中止	
お月見をしよう	中秋の名月の観察	9月14日(日)	193	萩博物館職員駐車場 19:00～21:00

行 事 名	内 容	期 日	参加者数	場所・時間
虫の合唱コンクール発表会	いろいろな虫の鳴き声の鑑賞	9月23日(火)	7	萩博物館講座室・ 萩博物館周辺 19:00~21:00
天文講習会第1回 「天文学の始まりと人の関わり」	一般市民対象の天文講習	9月27日(土)	16	萩博物館講座室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	10月7日(火)	45	萩博物館講座室 10:00~12:00
天文講習会第2回 「現代の天文学」	一般市民対象の天文講習	10月11日(土)	15	萩博物館講座室 10:00~12:00
野外昆虫bingoゲーム	ゲームをしながら昆虫採集	10月12日(日)	5	萩博物館講座室・ 指月石彫公園 10:00~12:00
藍場川・どこでも水族館 体験ツアー	藍場川にすむ生き物の観察と採集	10月19日(日)	9	萩博物館講座室・ 藍場川・阿武川 13:30~16:00
天文講習会第3回 「太陽と星の一生」	一般市民対象の天文講習	10月24日(土)	16	萩博物館講座室 10:00~12:00
昆虫の忍術を見破ろう!	隠れている昆虫を探す	11月2日(日)	13	川上河川公園 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	11月4日(火)	45	萩博物館講座室 10:00~12:00
天文講習会第4回 「太陽系」	一般市民対象の天文講習	11月8日(土)	14	萩博物館講座室 10:00~12:00
カブトムシを探そう!	カブトムシなどの幼虫を見つける	11月16日(日)	20	指月公園 10:00~12:00
天文講習会第5回 「銀河系と銀河の成り立ち」	一般市民対象の天文講習	11月22日(土)	13	萩博物館講座室 10:00~12:00
アンドロメダ銀河と 秋の星座をみよう	アンドロメダ銀河と秋の星座の観察	11月28日(金) ~30日(日)	49	萩博物館天体観望室 19:30~21:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	12月2日(火)	41	萩博物館講座室 10:00~12:00
野山の秋味体験ツアー	食べられる実の採集と試食	12月7日(日)	21	川上惣之瀬・ 川上河川公園 10:30~16:00
天文講習会第6回 「宇宙とその始まり」	一般市民対象の天文講習	12月13日(土)	17	萩博物館講座室 10:00~12:00
つる植物でリース作り	つる植物の採集とリース作り	12月21日(日)	22	萩博物館体験学習室・ 田床山 10:00~15:00
海の秘宝「タカラガイ」を求めて ～海からの贈り物①	タカラガイのゲーム形式の採集と 名前調べ	12月23日(火)	24	長門市只ノ浜・ 萩博物館講座室 10:00~15:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	1月6日(火)	45	萩博物館講座室 10:00~12:00
ガリレオの望遠鏡で 宇宙をみよう	世界天文年オープニングのイベント としてガリレオが使った望遠鏡の 模型で天体観望	1月9日(金)	12	萩博物館天体観望室・ 講座室 19:30~21:00
天文講習会第7回 「観測施設の概要と 公開業務について」	一般市民対象の天文講習	1月10日(土)	13	萩博物館天体観望室 10:00~12:00
まぼろしの怪鳥探検!	冬の渡り鳥の観察	1月18日(日)	17	川上阿武川ダム周辺 13:30~15:00

行 事 名	内 容	期 日	参 加 者 数	場 所・時 間
天文講習会第8回 「望遠鏡のしくみと太陽観察の危険性」	一般市民対象の天文講習	1月24日(土)	14	萩博物館天体観望室 10:00~12:00
金星と冬の星座をみよう	金星と冬の星座の観察	1月30日(金) ~2月1日(日)	36	萩博物館天体観望室 19:30~21:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	2月3日(火)	45	萩博物館講座室 10:00~12:00
天文講習会第9回 「望遠鏡操作の実習①」	一般市民対象の天文講習	2月14日(土)	14	萩博物館天体観望室 10:00~12:00
冬の昆虫・宝さがし	越冬している昆虫探し	2月22日(日)	41	萩博物館周辺 13:30~15:30
天文講習会第10回 「望遠鏡操作の実習②」	一般市民対象の天文講習	2月28日(土)	14	萩博物館天体観望室 10:00~12:00
藩政時代を読む会	萩藩の触書の講読	3月3日(火)	45	萩博物館講座室 10:00~12:00
天文講演会「宇宙にひそむブラックホール」	山口大学理学部と共に同大学の教官が講演	3月8日(日)	50	萩博物館講座室 13:30~15:00
桃色の宝石「サクラガイ」をあなたのものに ～海からの贈り物②	サクラガイの採集とリース作り	3月20日(金)	25	10:00~15:00
萩の天狗(ムササビ) 探索ツアー	ムササビの飛翔の観察	3月21日(土)	20	萩博物館講座室・ 椿八幡宮 16:30~18:30
定例天体観望会「星の会」	定例の天体観望と天文の話	毎週金曜日	980	萩博物館天体観望室 19:30~21:00
天体観望室の公開	太陽望遠鏡による太陽の観望と天体観望室の公開	水~金 第2・4土・日	4,970	萩博物館天体観望室 13:00~16:30



「ドクタームッシーの昆虫実験室」(平成20年度)



「藍場川・どこでも水族館体験ツアー」(平成20年度)



「萩の天狗(ムササビ)探索ツアー」(平成20年度)



「海の秘宝タカラガイを求めて」(平成20年度)



「マンタの海流大冒険 団体専用スペシャルプラン」  
(平成21年度)



「竜宮の使いタッチング」(平成21年度)



「天体観望会」(平成21年度)

## 平成21年度普及活動一覧（当館主催行事のみ）

行 事 名	内 容	期 日	参加者数	場所・時間
とっておき!萩城 秘蔵のヒメボタルをたずねて	指月山に生息するヒメボタルの鑑賞	5月30日(土)	30	指月公園 19:30～22:00
藩政時代を読む会	万治制法と触書の講読	6月2日(火)	48	萩博物館講座室 10:00～12:00
藩政時代を読む会	万治制法と触書の講読	7月7日(火)	40	萩博物館講座室 10:00～12:00
光の罠に昆虫大集合! 夏の夜の昆虫まつり	ライトトラップによる昆虫採集	7月25日(土)	雨天中止	
光の罠に昆虫大集合! 夏の夜の昆虫まつり	ライトトラップによる昆虫採集	8月22日(土)	31	田床山 20:00～22:00
潜入!キャプテン・マンターレ の秘密基地	特別展「マンタの海流大冒険」の会場などを巡り、貝や魚などの秘密を探る	7月18・25日 8月1・8・15・ 22・29日	350	萩博物館企画展示室 など 10:30～、14:30～
特別展 「マンタの海流大冒険」 団体専用スペシャルプラン	特別展の会場を巡り、 クイズや貝さがし	7月22・24・27・ 28・29・31日 8月5・7・18・20・ 21・24・25・26・ 27・28日	748	萩博物館企画展示室 など 随時
藩政時代を読む会	万治制法と触書の講読	9月1日(火)	40	萩博物館講座室 10:00～12:00
藩政時代を読む会	万治制法と触書の講読	10月6日(火)	31	萩博物館講座室 10:00～12:00
秋の夕暮・城下町に 虫の音をたずねて	鳴く虫の鳴き声あてと鳴く虫の探索	10月11日(日)	21	萩博物館講座室 萩博物館周辺 19:30～21:30
秋の夕暮・城下町に 虫の音をたずねて	鳴く虫の鳴き声あてと鳴く虫の探索	10月17日(土)	4	萩博物館講座室 萩博物館周辺 19:30～21:30
藩政時代を読む会	万治制法と触書の講読	10月27日(火)	35	萩博物館講座室 10:00～12:00
藩政時代を読む会	万治制法と触書の講読	11月10日(火)	30	萩博物館講座室 10:00～12:00
藩政時代を読む会	万治制法と触書の講読	12月1日(火)	33	萩博物館講座室 10:00～12:00
海の秘宝タカラガイを あなたのものに	タカラガイのゲーム形式の採集と 名前調べ	12月23日(水)	21	長門市野波瀬海岸 萩博物館講座室 10:00～15:00
藩政時代を読む会	万治制法と触書の講読	1月5日(火)	33	萩博物館講座室 10:00～12:00
藩政時代を読む会	万治制法と触書の講読	2月9日(火)	35	萩博物館講座室 10:00～12:00
藩政時代を読む会	万治制法と触書の講読	3月2日(火)	35	萩博物館講座室 10:00～12:00
浜辺に咲くサクラガイを もとめて	ゲーム形式の貝採集と貝の名前調べ	3月21日(日)	25	西の浜 萩博物館講座室 10:00～15:00
竜宮の使いタッチング	生のリュウグウノツカイに触れる	3月27日(土)・ 28日(日)	609	萩博物館講座室 1日7回
天体観望会（昼の部）	太陽の観望と話	毎週土曜日 (7月～3月)	2,047	萩博物館天体観望室 13:00～16:30
天体観望会（夜の部）	天体観望と天文の話	毎週土曜日 (7月～3月)	362	萩博物館天体観望室 19:30～21:00

## 8. 収集・保管活動

### (1) 開館後の寄贈・寄託資料

当館の収蔵資料の収集は、主に寄贈・寄託によってなされている。資料の寄贈・寄託については、平成16年度は寄贈13件・寄託6件、平成17年度は寄贈16件・寄託15件、平成18年度は寄贈17件・寄託3件、平成19年度は寄贈12件・寄託4件、平成20年度は寄贈14件・寄託6件、平成21年度は寄贈13件・寄託9件であった。

これらの寄贈・寄託資料は、常設展示や特別展・企画展などで展示資料として活用したり、調査研究資料としても役立てたりしている。

### 平成16年度寄贈資料

#### 郡司譲岐申遣状

1巻 個人

#### 御座船図額

1面 個人

#### 萩天満宮千五十年式大祭ポスター

1枚 個人

#### 西郷隆盛首実検之図（錦絵）

1枚 個人

#### 毛利輝元錢別状写

1幅 個人

#### 天樹院寄進銅製花入れ

1口 個人

#### 書画屏風

大庭学懶「人物図」、羽様西崖「桜図」、  
広瀬旭荘詩書（各6曲1双） 遺族

#### 書画掛軸

毛利重就書、村田清風書、  
山田顕義書等38幅 遺族

#### 書簡巻子、書画掛軸、書画額

吉田松陰書簡、高杉晋作書簡、  
久坂玄瑞書簡等21巻、21幅、6捲、2面 遺族

#### 書額・書簡額等

松林桂月書・書簡3面等 個人

#### 杉孫七郎書幅

1幅 個人

#### 短刀

6振 遺族

### 渡辺蒿藏関係資料

山田顕義書簡、木戸孝允書簡等441点、 遺族  
写真1括

### 平成16年度寄託資料

#### 菊ヶ浜土墨築造図屏風

6曲1隻、4曲1隻 個人

#### 高杉晋作書簡

1幅 個人

#### 歴代萩藩主関係資料等

毛利宗広所用甲冑、毛利輝元肖像、  
毛利秀就肖像等175点 団体

#### 吉見正頼銘文琵琶

1面 個人

#### 萩藩主関係資料等

毛利綱広書、毛利齊広書、  
毛利敬親書等59点 团体

#### 太刀銘「光房」

1口（国指定重要文化財） 团体

### 平成17年度寄贈資料

#### 萩焼・画額等

3代坂新兵衛「蝦蟇仙人」、  
高島北海「花卉図」等13点 個人

#### 絵葉書、古地図、戦前新聞

1括 個人

#### 狩野晴臯「鷹図屏風」

2曲1隻 個人

#### 有栖川宮熾仁書（複製）

1捲 個人

#### 岩国藩札

6枚 個人

#### 茶掛け・扁額等

茶掛け「茶對」等3幅、  
扁額「梅屋」等2面、短冊1枚 遺族

#### 大田垣蓮月和歌入土鍋

1口 個人

#### 萩焼大皿

2口（吉賀大眉作、香月泰男画） 個人

#### 吉田松陰座像等

秋山貞一作 吉田松陰座像1躯、額入写真2面 遺族

<b>書画掛軸等</b>	<b>書画掛軸、書状額等</b>	
松林桂月「雨中茅屋図」1幅、 柴田家門「吉田松陰土規七則録」2幅等	遺族	高島北海「朝顔図」、山県有朋和歌書、 木戸孝允書状等9点
<b>山本（梅屋）七兵衛関係資料</b>	遺族	遺族
梅屋七兵衛肖像写真、旅日記、 茶飯釜等15点		<b>古文書</b>
<b>呼び鈴</b>	個人	近世武家文書(萩藩大組張家)23点
1口	個人	<b>軍刀（月山貞勝作）</b>
<b>高山彦九郎石版摺り</b>	個人	1口
1幅	個人	<b>古文書</b>
<b>近代資料</b>	個人	近世武家文書(萩藩大組周布家)115点
地券4枚、昭和天皇行幸写真帳1冊等12点	個人	<b>画屏風、書画掛軸</b>
<b>山根正次関係資料</b>	遺族	森寛斎「松溪高士煎茶山水図」6曲1双、 村田清風詩書2幅対等6点
山尾庸三書簡、遠藤謹助書簡、 桂太郎書簡等多数	遺族	<b>宝泉寺船絵馬群</b>
<b>近代資料</b>	個人	67点(山口県指定文化財)
日露戦争紀念掛軸1幅、古写真1葉	個人	<b>平成18年度寄贈資料</b>
<b>平成17年度寄託資料</b>		
<b>古文書等</b>	遺族	<b>画幅</b>
中世武家文書(大内氏家臣杉家)、 近世武家文書(萩藩寄組熊谷家)等175点	遺族	寺崎廣業「春景山水図」1幅、 羽様西崖「雲月梅図」1幅
<b>中世武家文書、近代文書</b>	遺族	<b>渡辺蒿蔵関係資料</b>
毛利元就書状他1巻、乃木希典書状他1巻	遺族	渡辺蒿蔵書1幅等12点
<b>女体解剖図</b>	団体	<b>佐々木久之肖像画等</b>
1巻	団体	佐々木久之肖像画1幅等2点
<b>砲術家郡司関係資料</b>	遺族	<b>大型水槽</b>
郡司賢道画像、郡司賢亮宛書簡集等5点	遺族	1式
<b>古文書等</b>	遺族	<b>岸岱「春秋山水図」屏風</b>
中世武家文書(萩藩大組羽仁家)、 萩城下町絵図等15点	遺族	6曲1双
<b>高島北海襖絵・書状額</b>	団体	<b>大田龍「中国人物図」</b>
高島北海「花卉図」8面(萩市指定文化財)、 高島北海書状1面	団体	1幅
<b>雪峯東山空和尚外集、石屏子介禪師墨跡等</b>	団体	<b>山崎万寿輔肖像画</b>
雪峯東山空和尚外集1冊(国指定重要文化財)、 石屏子介禪師墨跡1幅(山口県指定文化財) 等8点	団体	1幅
<b>武家屋敷差図</b>	団体	<b>萩関係絵葉書</b>
1舗	団体	萩八景8枚・松陰神社参拝記念12枚
<b>太刀銘「延吉」</b>	団体	<b>時山直八顕彰碑拓本</b>
1口(国指定重要文化財)	団体	「時山君之碑」拓本1冊
		<b>大村益次郎書簡等</b>
		大村益次郎書簡1巻、送風機1台
		<b>民具等</b>
		携帯用手あぶり等16点
		<b>井上剣花坊書額</b>
		1面
		<b>井上剣花坊関係資料</b>
		井上剣花坊川柳掛軸・額・色紙等8点

## 古文書等

近世武家文書・近代文書  
(萩藩大組山県家)225点、大庭学僕杉板戸等4点

## 二代目栗山孝庵書

大隱斎先生小伝弁記1巻  
遺族

## 吉田松陰手翰(複製)等

妹宛吉田松陰書簡(複製)等2冊  
個人

## 雲谷等璠「花鳥図」屏風

6曲1双  
個人

## 平成18年度寄託資料

### 近世武家関係資料

萩藩大組奥平家甲冑、袴、皮袋、  
軍配団等46点

### 雲谷等智「鷹図」、林百非「四字書」

2幅  
個人

### 中嶋治平関係資料

大砲模型、耐火煉瓦、古文書等217点  
個人

## 平成19年度寄贈資料

### 吉武恵市遺品

辞令、自筆色紙、自筆原稿、雅印、  
写真等34点  
遺族

### 西園寺公望書簡

1通(昭和2年1月11日、田中義一宛)  
個人

### 長州銛

1枚  
個人

### 弘法大師画像

1幅  
個人

### 刀

1口(銘「長州萩住藤田真龍子永弘」)  
個人

### 雲谷派「樓閣山水図」屏風

6曲1双  
個人

### 野坂參三遺品

自筆色紙、自筆絵葉書、愛用の筆・硯等30点  
遺族

### 砲弾

1発  
個人

### 中村正路関係資料

中村正路肖像画、中村正路肖像写真  
遺族

### 柴田家門肖像写真

1枚  
遺族

### 雲谷派「十二支図」屏風

6曲1双  
個人

## 刀

1口(無銘、豊後高田鍛冶)  
個人

## 平成19年度寄託資料

### 雲谷等顔「唐人物図」屏風

2曲1隻  
個人

### 吉田稔麿関係資料

自筆書簡、自筆日記、愛用の懐中、  
高杉晋作書等30点  
団体

### 吉松淳蔵関係資料

吉松淳蔵画像、小野研齋画像、  
高杉晋作・久坂玄瑞漢詩  
遺族

### 伊藤博文遺品手帖

1点  
(元治元年イギリスから帰国際の土産)  
個人

## 平成20年度寄贈資料

### 絵図資料

東海道絵図、大坂絵図、  
明治天皇御大葬御行列明細図等4点  
個人

### 木喰「年徳の書」

1幅(萩市指定文化財)  
個人

### 吉田松陰像

1躯  
個人

### 村上景介筆日本画

13面  
遺族

### 昆虫標本

ドイツ箱88箱  
個人

### 書額

2面(伊藤博文書額、長三州書額)  
個人

### 絵葉書

1枚(田中大将銅像除幕式記念絵葉書)  
個人

### 雲谷等爾「人物花鳥図」

12枚(押し絵貼り捲り)  
個人

### 古写真

唐樋町寿座、萩中学校、椿東小学校等14点  
個人

### 民具、古文書等

たばこ盆等民具、  
近世地方文書(大井庄屋)、近現代書籍類等  
遺族

### 天体望遠鏡

11cm反射式  
個人

### 村田清風詩書

1幅  
個人

**品川弥二郎書屏風**

6曲1双

個人

**天体望遠鏡**

10cm反射式

個人

**平成20年度寄託資料****木喰仏像**弘法大師立像、釈迦如來立像、  
阿彌陀如來立像(以上、萩市指定文化財)

団体

**古文書**

近世武家文書(萩藩寄組佐世家)47点

遺族

**郡司喜兵治・美和肖像画**

2面

遺族

**大谷樸助関係資料**吉田松陰自筆土規七則、  
久坂玄瑞七言絶句、山県有朋七言絶句等6点

遺族

**永代家老福原家関係資料**

福原家紋入り打敷、福原家紋入り唐幡

団体

**蘿江釣徒「山水図屏風」**

6曲1双

個人

**平成21年度寄贈資料****近世武家資料**

萩藩大組河内家直垂、袴等22点

遺族

**一に三つ星紋陣羽織**

1領

個人

**民具等**

瓢箪秤、矢立、地券証等49点

個人

**五松閣記(草稿)**

1捲

遺族

**海軍関係資料**

海軍礼装1領等

遺族

**吉田松陰生誕150年記念祭関係資料**松陰生誕150年記念たばこ、  
松陰先生生誕150年記念祭法被、  
松陰神社参拝記念御取箸等

個人

**煎茶具等**

湯沸・炉1式、毛利斉元書1幅

個人

**毛利宗広書**

1幅

個人

**徳富蘇峰七言絶句(松下村塾詠)**

1面(複製)

個人

**明治政治家書簡巻子**

1巻

遺族

(山田顥義・品川弥二郎・白根専一・桂太郎等)

**独協大学学校史**

2冊

個人

**ミンククジラ骨格**

1式

団体

**小萩人形**

53点

遺族

**旧福原家書院襖(有地含章筆)**

17面

団体

**平成21年度寄託資料****吉田松陰書簡**

1幅

個人

**山県有朋和歌書**

1幅

個人

**萩焼**

伊藤博文揮毫茶碗1口、

遺族

品川弥二郎揮毫茶碗1口、松林桂月画花入1口

**吉田松陰書簡他**

1巻

個人

**茶釜銘「羽衣」**

1口

個人

**萩焼**

佐藤栄作揮毫茶碗1口

遺族

**近世・近代書画**12点(三条実美二行書・井上馨七言絶句、  
荻生徂徠書等)**長嶺武四郎「裸婦像」**

2躯

団体

**佐久間象山「山水図」**

1幅

個人

## (2) 収蔵資料の概要

### a. 指定文化財

歴史資料、美術資料、民俗資料、考古資料、生物資料、地学資料等を主に収蔵している。そのうち、国・県・市の文化財に指定されているものは以下のとおりである。

#### 国指定重要文化財

太刀 銘延吉 附 絲巻太刀拵（寄託）  
太刀 銘光房 附 革包太刀拵（寄託）  
雪峯東山空和尚外集（寄託）

#### 国指定重要民俗文化財

宝泉寺船絵馬群（寄託）

#### 県指定有形文化財

石屏子介禪師墨蹟（寄託）  
見島ジーコンボ古墳群出土品  
円光寺古墳出土品

#### 市指定有形文化財

発昌寺襍絵 附 高島北海書状一通（寄託）  
木造 弘法大師立像（寄託）  
木造 釈迦如来立像（寄託）  
木造 阿弥陀如来立像（寄託）  
紙本墨書 年徳の書  
大井八幡宮文書（寄託）

### b. 主な歴史資料

- 江戸初期から明治維新期までの各年代の城下町絵図。
- 藩校明倫館の古文書・絵図、明倫館学頭の遺墨など。
- 吉田松陰の実家杉家に伝わった松陰や門下生たちの遺墨や書簡。
- 高杉晋作（幼年から萩在住期）の遺品や書簡・日記。
- 木戸孝允旧宅の襍の下張りから発見された孝允関係の遺墨や書簡。

### c. 主な美術資料

- 森寛斎・高島北海・松林桂月など萩ゆかりの日本画家の作品。
- 萩藩のお抱え絵師雲谷派の江戸初期から幕末まで各年代の作品。
- 柳橋貞子の作品を主とした小萩人形。

### d. 主な民俗資料

- 須佐の宝泉寺と黄帝社に奉納された江戸時代から明治時代にかけての船絵馬。
- 萩城下の武家や町家の生活用具。
- 萩の農業・漁業の生業用具。

### e. 主な考古資料

- 見島ジーコンボ古墳群出土の銅鏡・石鏡・銅鏡・錢貨・須恵器・綠釉陶器など。
- 大井円光寺古墳出土の環頭太刀柄頭・勾玉など。
- 大井宮の馬場遺跡出土の土器や石器。
- 大井大寺出土の瓦。
- 大井天長山出土の経筒・経巻など。

### f. 主な生物資料

- 博物学者田中市郎が戦前に収集し、戦後寄贈した魚類・哺乳類・鳥類などの生物標本。
- 見島在住の貝類研究家多田武一が収集し、寄贈した見島産の貝類標本
- 山口県北部地方の植物・昆虫・魚類標本

### g. 主な地学資料

- 萩市とその周辺地域の岩石・鉱石・化石などの標本

## 9. 調査・研究活動

平成17年度から毎年、学芸職員の研究や調査活動の成果を『萩博物館調査研究報告』としてまとめ刊行している。しかし、資料紹介や普及活動の紹介が主となって、体系的な調査・研究成果の発表の場とはなっていないくらいがある。学芸職員の調査・研究活動の積み重ねが、特別展や企画展として結実するのが理想である。

### 萩博物館調査研究報告

#### 第1号(平成17年度)

- 「天文教具の試作」 吉田恭一
- 「萩博物館所蔵の田中市郎氏寄贈生物標本目録(I):魚類」 堀 成夫
- 「萩藩主毛利家一門大野毛利家の上屋敷地の変遷について」 樋口尚樹
- 「田中宗昭氏寄贈資料における須佐益田家お抱え絵師・永富家に関する資料紹介」 上利英之

#### 第2号(平成18年度)

- 「惑星儀の製作」 山根弘也
- 「萩市のカミキリムシ目録」 榎木博昭
- 「徳島県藍商の山口県関連取引資料」 清水満幸
- 「山根正次関係資料目録(一)」 道迫真吾
- 「史料紹介 幸井信友の青木周弼宛書簡」 二宮陸雄・秋葉 實・道迫真吾

#### 第3号(平成19年度)

- 「萩博物館開館3年間の総括と課題」 樋口尚樹
- 「萩博物館寄託『杉家文書』」 井上 聰・村井祐樹

#### 第4号(平成20年度)

- 「萩市における晴天率」 山根弘也・吉田恭一
- 「萩市のカミキリムシ目録II」 榎木博昭
- 「萩城跡指月山の植生の変遷について」 樋口尚樹

#### 第5号(平成21年度)

- 「萩博物館所蔵の田中市郎コレクション(I):魚類標本(2)」 堀 成夫
- 「萩・住吉祭りの夜見世～地方新聞の記事より～」 清水満幸

- 「萩反射炉関連史料の調査報告(第一報)」 道迫真吾
- 「越後に存在する松陰史料」 一坂太郎

### 展示図録

#### ●萩博物館展示案内

平成16年度  
常設展示図録、A4版、80ページ

#### ●毛利輝元と萩開府

平成16年度  
開館記念・萩開府400年記念特別展図録、A4版、56ページ

#### ●幕末長州藩の科学技術—大砲づくりに挑んだ男たち—

平成17年度  
企画展図録、A4版、84ページ

#### ●晋作と龍馬—幕末に輝いた二つの青春—

平成18年度  
企画展図録、B5版、40ページ

#### ●萩のまちは屋根のない博物館・萩博物館展示案内

平成18年度  
常設展示図録、B5版、56ページ  
日本生命財団助成事業

#### ●松下村塾開塾150年記念 吉田松陰と塾生たち

平成19年度  
企画展「松門四天王と桂小五郎」展示図録を兼ねる、A4版、82ページ  
松下村塾開塾150年記念誌出版委員会発行

#### ●明治維新の光と影

平成20年度  
明治維新140年記念特別展図録、A4版、72ページ

#### ●伊藤博文とその時代

平成21年度  
伊藤博文没後100年記念特別展図録、  
B5版、44ページ

## 10. まちじゅう博物館とのかかわり

### (1) NPO 萩まちじゅう博物館との協働

NPO萩まちじゅう博物館は、萩の歴史・文化・自然などの都市遺産を再発見し、その情報の管理や活用などを行うことで、都市遺産を守り育て次世代に継承していくことを目的として、平成16年(2004)6月18日に設立された。萩のまちを屋根のない博物館としてとらえ、まちじゅうに点在する都市遺産を保存・活用するというまちづくり「萩まちじゅう博物館」を萩市と協働で推進している。そのネットワークイメージは、図のとおりである。

具体的には、萩まちじゅう博物館の中核施設である萩博物館の管理・運営を萩市から受託しているとともに、文化財施設を活用したイベントや展示会の開催、インターネット活用による情報発信、都市遺産の情報収集やリスト化、未指定文化財を信託金で守るワンコイントラスト運動などを行っている。

同NPOには、萩まちじゅう博物館の推進を担っ

ている班(7班)、萩博物館の学芸活動をサポートしている班(8班)、萩博物館の管理・運営を担っている班(5班)がある。そのうち、当館の学芸活動のサポートをしている班は、「歴史班」「天文班」「海洋班」「陸生班」「あい班」「古写真班」「レコード班」「民具班」からなっているが、これらの班と協働して、館収蔵の資料や標本の整理、調査活動、教育普及活動などの一部を行っている。

### (2) まちじゅう博物館推進事業とのかかわり

まちじゅう博物館の推進については、城下町萩の筋名の復活事業、サテライト施設での展示、紙芝居作成などの諸事業を連携して行った。また、萩のまちじゅうの自然や歴史・文化遺産などを多くの人に知ってもらい語り部たちを養成するため、「萩ものしり博士検定」のテキストの執筆も各分野の学芸職員で手分けして行った。

## 11. 今後の課題

### (1) 展示に関すること

- 来館者の満足度を高め展示のマンネリ化を解消するため、さらに内容を充実した常設展示の改変。
- 多種多様な館蔵資料を活用するため、様々なテーマを設定した展覧会のパック化。
- 展覧会の内容をさらに充実するため、学芸職員の継続的・日常的な調査・研究活動を反映した展覧会の開催。
- 市民参加の展示を進めるため、萩学コーナーに設置している「萩学なんでもボックス」の増設。

### (2) 教育普及に関すること

- 博物館を理解してもら小・中学校等の利用を促進するため、教職員向けのガイダンスや研修会の開催。
- 小・中学校などの利用を促進するため、常設展示室等に設置する小・中学生向けのワークシートの作成。

### (3) 収集・保管に関すること

- 寄贈や寄託によって年々増加している資料を収蔵するため、収蔵庫の増設。
- 収蔵資料を展示などに有効に利活用するため、収蔵資料の整理とデータベース化の促進。

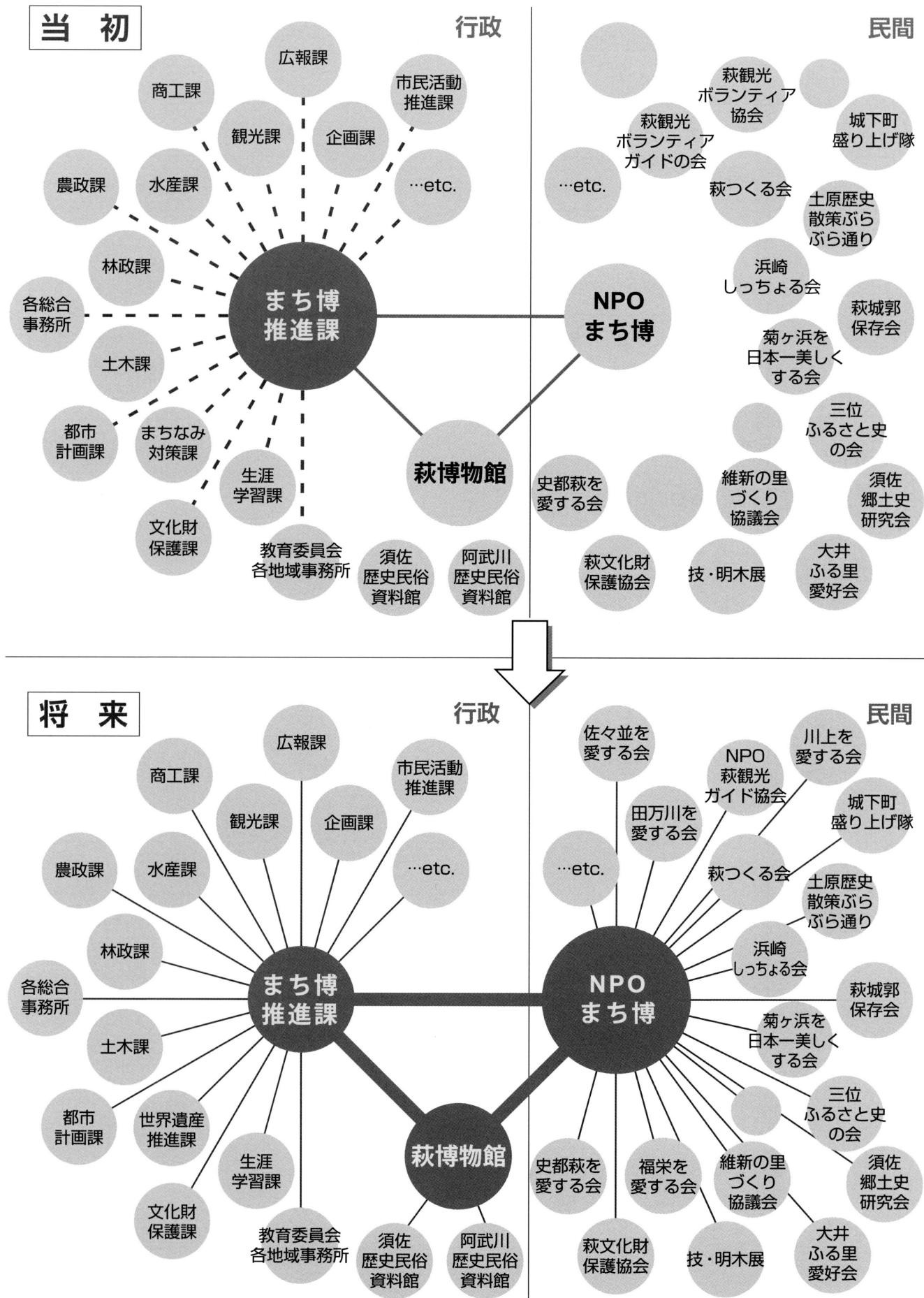
### (4) 調査・研究に関すること

- 体系的な調査・研究の成果を展示や教育普及活動などに還元するため、各分野における調査・研究の長期的なテーマと1年ごとのテーマの設定。
- 体系的な調査・研究の成果を蓄積するため、調査・研究の継続性の保持。

### (5) 管理・運営に関すること

- 学芸職員の専門分野や年齢的なバランスを図るために、学芸職員の計画的配置。
- 博物館施設や機器等の延命化を図るため、施設・機器等の予防修繕の計画的実施。

## 「萩まちじゅう博物館」のネットワークイメージ図



## 博物館職員の動向

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
館 長	高木 正熙 (16.11~)						
副 館 長	樋口 尚樹 (16.11~)						
事務局長	柳井 和彦 (16.11~21.3)						
庶務係長				植村 正 (20.4~)			
庶務係員	大藤理恵子 (16.11~21.3)			伊藤 靖子 (21.4~)			
庶務係員		長岡 夕美 (17.4~22.3)				上田 智子 (22.4~)	
庶務係員	池内 剛 (16.11~18.3)	中村 浩二 (18.4~20.3)					
学芸員 (生活文化)	清水 満幸 (16.11~)						
研究員 (歴史)	道迫 真吾 (16.11~)						
研究員 (海洋生物)	堀 成夫 (16.11~)						
学芸員 (歴史・嘱託)	一坂 太郎 (16.11~)						
専門員 (陸生生物・嘱託)	棕木 博昭 (16.11~)						
専門員 (天文・嘱託)	吉田 恒一 (16.11~18.3)	山根 弘也 (18.4~21.3)					
専門員 (美術・嘱託)	上利 英夫 (16.11~18.3)						
専門員 (考古・嘱託)	柏本 朝子 (16.11~17.9)						
専門員 (展示・NPO派遣)	南野美智恵 (16.11~)						
指導員 (天文)				吉田 恒一 (21.7~)			
指導員 (天文)				黄丹 義人 (21.7~)			



---

平成23年(2011)3月30日 発行

萩博物館  
開館5周年記念誌

発行 萩博物館  
萩市堀内355  
印刷 (有)マシヤマ印刷  
萩市椿3732-7

---





Hagi Hakubutsukan

萩博物館